

J P C

J A P A N P O W E R C I T I E S

日本の 都市特性評価

Japan Power Cities
Profiling Urban Attractiveness

2024



森記念財団
MORI MEMORIAL FOUNDATION

目次

はじめに	02
「日本の都市特性評価 2024」とは	03
対象都市	05
評価体系	07
136 都市 結果・分析	09
東京23区 結果・分析	22
特集研究	25
指標の定義	29

はじめに

世界保健機関 (WHO) が2023年5月に新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言終了を発表してから1年余りが経過しました。森記念財団都市戦略研究所が発表している「日本の都市特性評価 (Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness / JPC)」においても、文化・交流分野における「国際会議・展示会開催件数」や「イベントの数」など、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた指標がいくつかありましたが、パンデミックの終息とともに徐々に回復してきました。

その一方で、地球環境問題への注目は年々高まり、都市が自然環境に対して果たすべき役割がますます大きくなってきています。そこで、JPCでは、合計スコアにおける環境分野の重みを増すこととし、環境分野の指標グループを3つから5つに増やすとともに、3つの新規指標を追加、さらに「水辺の充実度」にかわまちづくりの政策の評価を定義に追加しました。

環境分野では「一人一日あたりゴミの排出量」、「気温の暖かさ」、「快適性の満足度」の3指標を、環境分野以外の分野においても、「フレキシブルワークスタイル実施率」、「育児・教育関連給付金の多さ」の2指標を追加および差し替えを行い、時代の変化を反映した指標の見直しに努めました。

また、特集研究では、全87指標の個別スコアをもとにクラスター分析を行い、都市を数量的に類型化するとともに、各クラスター内においてスコアの傾向が似ている指標を抽出することで、各クラスターの性格付け (ネーミング) を行いました。JPCは、各都市が人や企業を惹きつける魅力を発揮するための政策立案に役立てられることを目指しており、今年の成果がその趣旨にかなうものであることを期待しています。

日本の都市特性評価 運営委員会 委員長
市川 宏雄
2024年7月



「日本の都市特性評価 2024」とは

About JPC-2024

背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、**日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め**、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。

そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められる。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに**相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的**として調査研究を行った。

策定体制

運営委員会

Steering Committee

評価体系の構築、データ収集、評価・分析

【委員長】



市川 宏雄

Hiroo Ichikawa

明治大学名誉教授

【メンバー】

森記念財団 都市戦略研究所

有識者委員会

Expert Committee

専門的な見地からの意見および助言

【委員（五十音順）】



浅見 泰司

Yasushi Asami

東京大学大学院
工学系研究科
教授



市川 一宏

Kazuhiro Ichikawa

ルーテル学院大学
名誉教授



岸井 隆幸

Takayuki Kishii

政策研究大学院大学
客員教授
日本大学名誉教授



中井 検裕

Norihiro Nakai

東京工業大学
名誉教授



中川 雅之

Masayuki Nakagawa

日本大学
経済学部
教授



花木 啓祐

Keisuke Hanaki

東京大学名誉教授
東洋大学名誉教授



吉見 俊哉

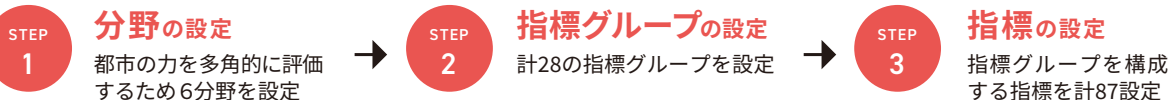
Shunya Yoshimi

國學院大学
観光まちづくり学部
教授

意見
助言

評価手法

▶ Creating Framework



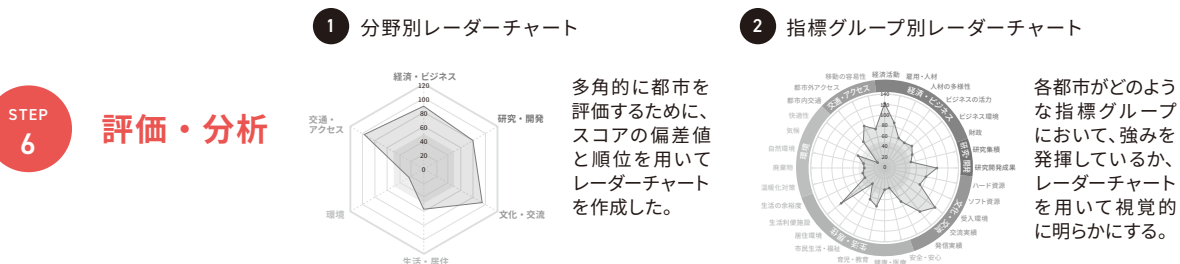
▶ Data Collection



▶ Indexation



▶ Evaluation and Analysis



対象都市

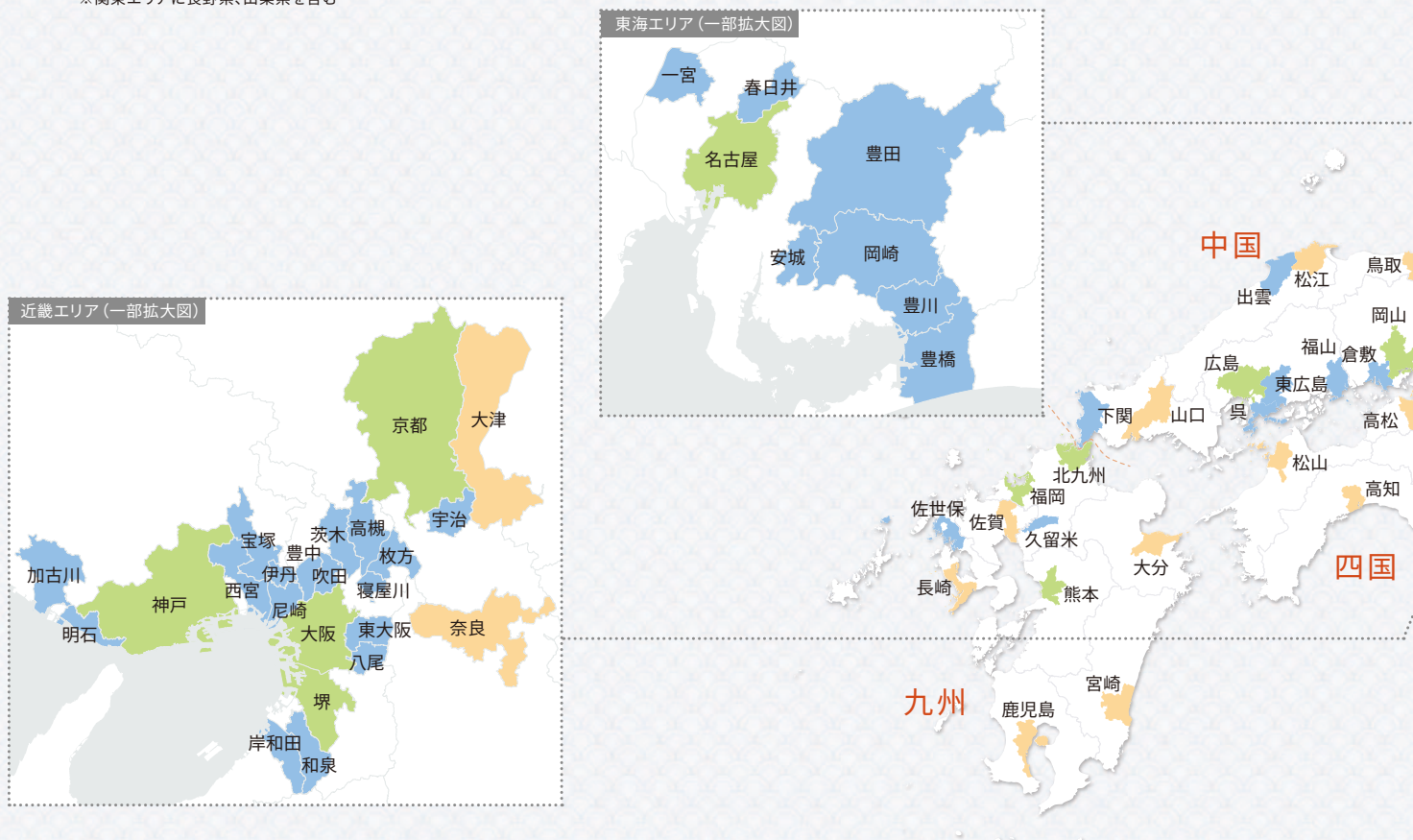
Target Cities

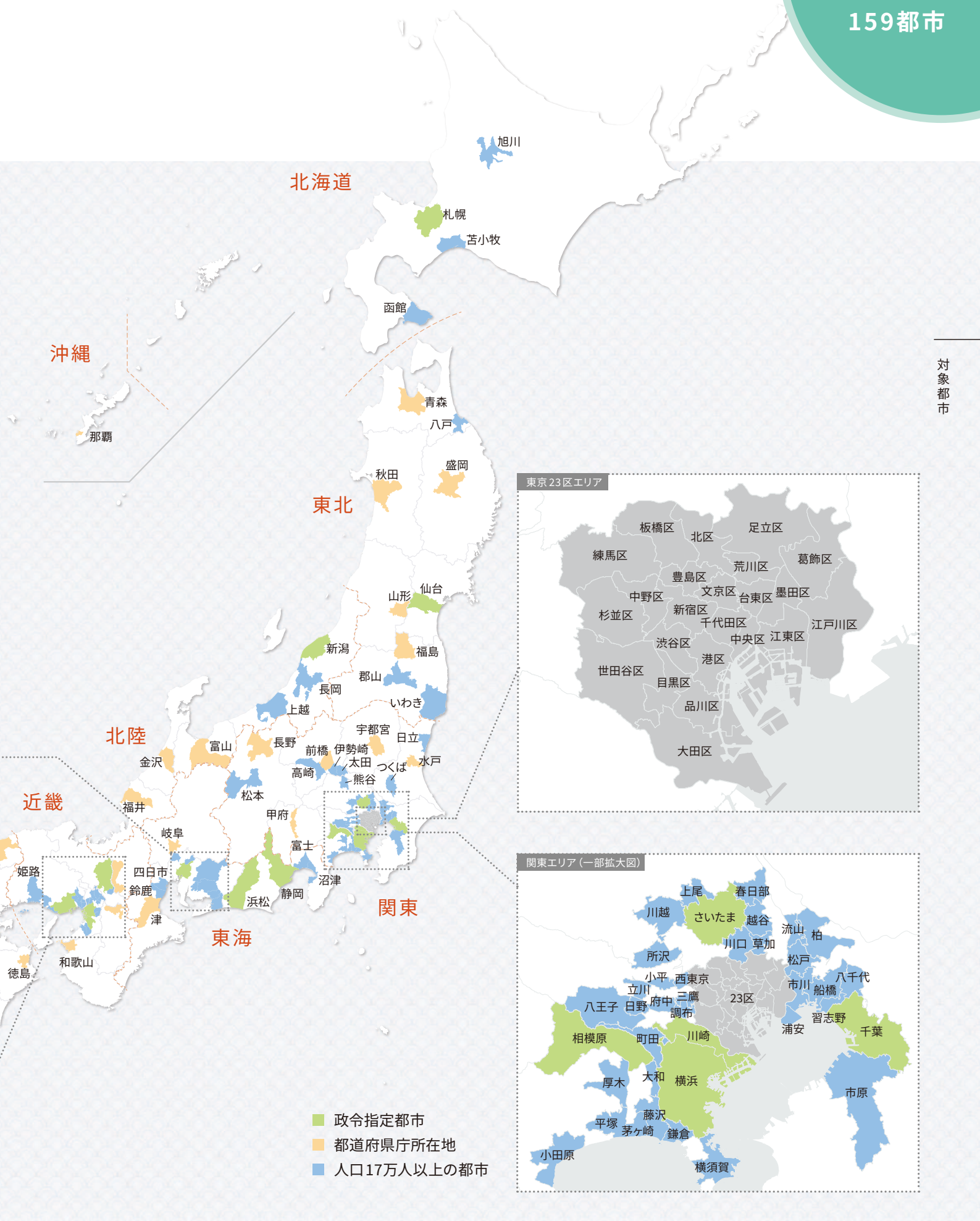
本調査は、国内の136都市と東京23区を対象としている。
136都市については下記のとおり選定基準を設定し、抽出した。

1. 政令指定都市
2. 都道府県庁所在地(政令指定都市を除く)
3. 人口17万人以上の都市

	政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上の都市
136 都市	北海道 札幌		函館・旭川・苫小牧
	東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	八戸・郡山・いわき
	関東※ さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	日立・つくば・高崎・伊勢崎・太田・川越・熊谷・川口・所沢・春日部・上尾・草加・越谷・市川・船橋・松戸・習志野・柏・市原・流山・八千代・浦安・八王子・立川・三鷹・府中・調布・町田・小平・日野・西東京・横須賀・平塚・鎌倉・藤沢・小田原・茅ヶ崎・厚木・大和・松本
	東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	沼津・富士・豊橋・岡崎・一宮・春日井・豊川・豊田・安城・四日市・鈴鹿
	北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡・上越
	近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	宇治・岸和田・豊中・吹田・高槻・枚方・茨木・八尾・寝屋川・和泉・東大阪・姫路・尼崎・明石・西宮・伊丹・加古川・宝塚
	中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	出雲・倉敷・呉・福山・東広島・下関
	四国	徳島・高松・松山・高知	
	九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
	沖縄	那覇	
東京 23区	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		

※関東エリアに長野県、山梨県を含む





評価体系

Evaluation System

各指標をスコア化し平均したものを指標グループのスコアとし、さらにそれらを合算して分野別スコアを算出した。合計スコアは、それらを合計して2,800点満点(経済・ビジネス600点、研究・開発200点、文化・交流500点、生活・居住700点、環境500点、交通・アクセス300点)で作成した。

分野	指標グループ	指標
経済・ビジネス	6 指標グループ	1 付加価値額
		2 地域内総支出
		3 昼夜間人口比率
		4 従業者数
		5 賃金水準
		6 高等教育修了者割合
	雇用・人材	7 若手人材の転入出
		8 女性就業者割合
	人材の多様性	9 外国人就業者割合
		10 高齢者就業率
	ビジネスの活力	11 新規設立法人登記割合
		12 労働生産性
	ビジネス環境	13 完全失業率
		14 新規不動産業用建築物供給面積
	ビジネス環境	15 特区制度認定数
		16 対事業所サービス従業者割合
	財政	17 フレキシブルワークスタイル実施率 
		18 財政力指数
		19 経常収支比率の低さ
		20 実質公債費比率の低さ
		21 将来負担比率の低さ
研究・開発	2 指標グループ	22 学術・開発研究機関従業者割合
		23 トップ大学数
	研究開発成果	24 論文投稿数
		25 グローバルニッチトップ企業数
		26 特許取得数
文化・交流	5 指標グループ	27 観光地の数・評価
		28 文化財指定件数
		29 景観まちづくりへの積極度
		30 イベントの数
		31 クリエイティブ産業従業者割合
	ハード資源	32 文化・歴史・伝統への接触機会 
		33 宿泊施設客室数
	ソフト資源	34 高級宿泊施設客室数
		35 イベントホール座席数
	受入環境	36 観光案内所・病院の多言語対応
		37 休日の人の多さ
	交流実績	38 行楽・観光目的の訪問の多さ
		39 国際会議・展示会開催件数
	発信実績	40 観光客誘致活動
		41 自治体 SNS フォロワー数
		42 魅力度・認知度・観光意欲度 

分野	指標グループ	指 標
生活・居住	7 指標グループ	安全・安心
		43 刑法犯認知件数の少なさ
		44 交通事故死亡者数の少なさ
		45 災害時の安全性
		46 空家率の低さ
		健康・医療
		47 医師の多さ
		48 病院・診療所・病床の多さ
		49 平均寿命・健康寿命
		育児・教育
		50 合計特殊出生率
		51 育児・教育関連給付金の多さ
		52 子どもの医療費支援
		53 教育機会の多様性
		54 外国人住民の受入体制
		市民生活・福祉
		55 要支援・要介護高齢者の少なさ
		56 日常生活自立支援事業利用者数の多さ
		57 電子自治体推進度
		居住環境
		58 居住環境の満足度 ○
		59 新規住宅供給の多さ
		60 住宅の広さ
		生活利便施設
		61 小売事業所密度
		62 飲食店舗密度
		63 コンビニ密度
		生活の余裕度
		64 可処分所得
		65 物価水準の低さ
		66 住宅コストの低さ
環境	5 指標グループ	温暖化対策
		67 昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ
		68 再生可能エネルギー自給率
		廃棄物
		69 一人一日あたりゴミの排出量
		70 リサイクル率
		自然環境
		71 自然環境の満足度 ○
		72 都市地域緑地率
		73 水辺の充実度
		74 年間日照時間
		気候
		75 気温・湿度が快適な日数
		76 気温の暖かさ
		77 空気のきれいさ
		78 街路の清潔さ ○
		79 快適性の満足度 ○
交通・アクセス	3 指標グループ	都市内交通
		80 公共交通の利便性 ○
		81 鉄道駅・バス停密度
		82 交通渋滞の少なさ
		都市外アクセス
		83 空港アクセス時間の短さ
		84 新幹線の利用のしやすさ
		85 インターチェンジ数
		移動の容易性
		86 通勤時間の短さ
		87 自転車の利用のしやすさ ○

○ : アンケートに基づく指標

合計スコアの上位10都市について、分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。 ※偏差値は対象136都市内で算出。

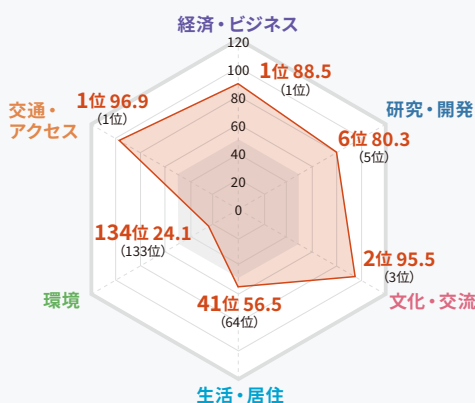
大阪市

OSAKA

高い経済力と交通アクセスの良い関西一の大都市

大阪市は、**経済・ビジネス**と**交通・アクセス**で最も高い評価を得ており、関西圏中心都市としての存在感を示した。今年は、長年弱みであった**生活・居住**の評価において改善がみられた。特に新規指標である育児・教育関連給付金の多さで高評価を獲得しており、政策として「育児・教育」に力を入れていることがうかがえる。**文化・交流**でも順位を一つ上げており、スコアを伸ばした観光客誘致活動、イベントの数が、強みである「受入環境」を支える要素となりつつある。今後も、内外から多くの人を魅了し続けることが期待される。

分野別の順位・偏差値



□ 2024 分野別偏差値 ○ 偏差値50ライン
() 2023の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2024 指標グループ別偏差値 ○ 偏差値50ライン
※グラフの形は偏差値を表す

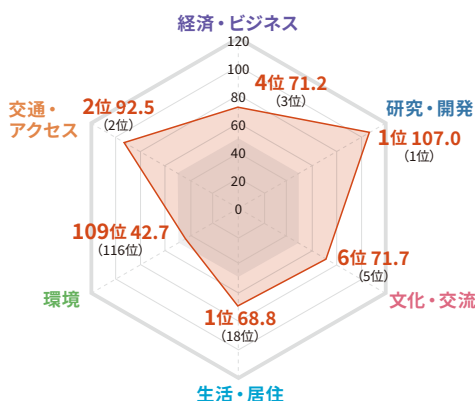
名古屋市

NAGOYA

生活・居住でトップに躍進した東海地方の中核都市

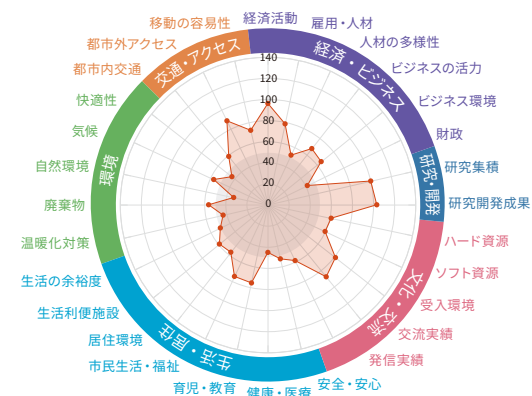
昨年に続き**研究・開発**と**交通・アクセス**で高い評価を維持した。**研究・開発**を構成する5指標のうち4指標が1位または2位である。**交通・アクセス**では、「都市外アクセス」のインターチェンジ数と、「移動の容易性」の自転車の利用のしやすさで2位であり、自動車交通の要衝という優位性に加え、都市内の自転車交通でも強みを発揮した。さらに今年は**生活・居住**で昨年の18位から1位に順位を上げた。「市民生活・福祉」の外国人住民の受入体制や、「育児・教育」の子どもの医療費支援などで高い評価を得たことが要因である。

分野別の順位・偏差値



□ 2024 分野別偏差値 ○ 偏差値50ライン
() 2023の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2024 指標グループ別偏差値 ○ 偏差値50ライン
※グラフの形は偏差値を表す

3 横浜市

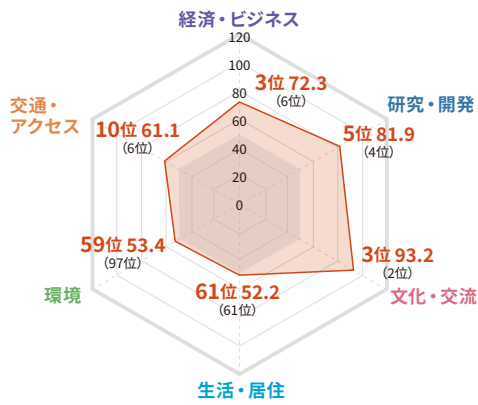
YOKOHAMA



観光資源と充実したビジネス環境で強みを見せる海洋都市

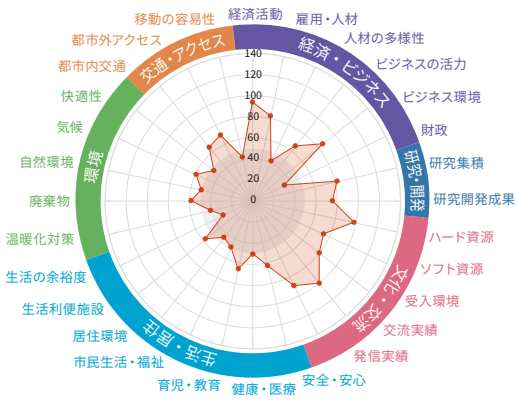
大都市でありながら高水準のバランス力を有する横浜市は、今年もトップ3を維持した。特にフレキシブルワークスタイル実施率で高評価を得たことで、**経済・ビジネス**の「ビジネス環境」の評価が向上した。国際会議・展示会開催件数は京都市に首位を譲ったものの、観光地の数・評価でスコアを上げ、**文化・交流**の評価は依然として大きな強みである。また、長年の弱みであった「自然環境」において、水辺の充実度の評価が躍進したことで、**環境**の順位向上につながった。

分野別の順位・偏差値



□ 2024 分野別偏差値 ● 偏差値 50 ライン
() 2023 の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2024 指標グループ別偏差値 ● 偏差値 50 ライン
※グラフの形は偏差値を表す

136 都市
結果・分析

4 京都市

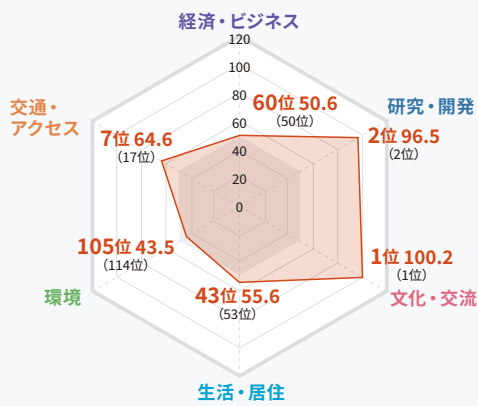
KYOTO



強みである文化・交流の評価をさらに伸ばした文化都市

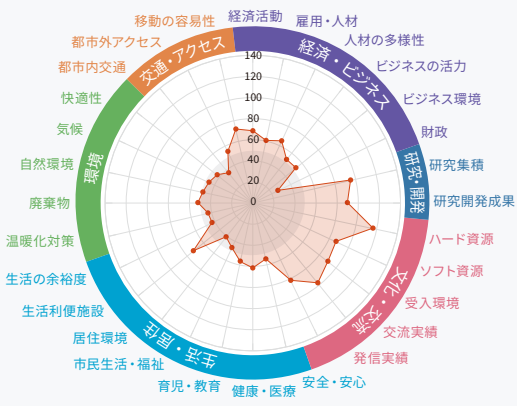
合計スコアの順位を一つ上げた京都市は、強みである**文化・交流**でスコアを伸ばし、その魅力をさらに高めた。特に、新型コロナウイルス感染症の影響でスコアを落としていた、「交流実績」の国際会議・展示会開催件数において回復がみられ、今年は首位を獲得した。「発信実績」も評価を伸ばしており、京都市の観光政策の熱心さがうかがえる。スコア、順位ともに落とした**経済・ビジネス**をどこまで改善させていけるかが、今後の都市力の向上にかかっている。

分野別の順位・偏差値



□ 2024 分野別偏差値 ● 偏差値 50 ライン
() 2023 の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2024 指標グループ別偏差値 ● 偏差値 50 ライン
※グラフの形は偏差値を表す

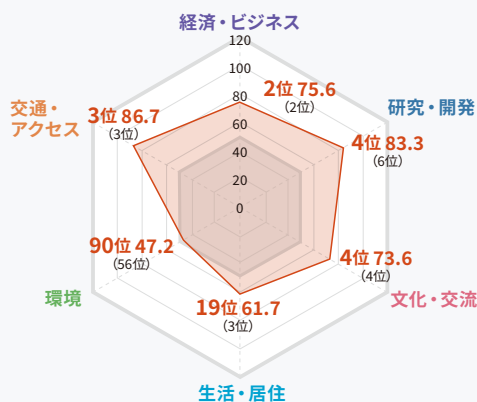
福岡市

FUKUOKA

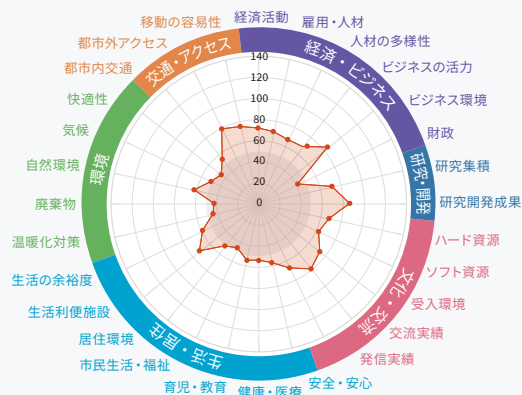
研究・開発で順位を伸ばした九州における大学集積地

今年は**環境**と**生活・居住**で順位を下げたものの、他の4分野では高順位を維持した。特に2位の**経済・ビジネス**では「ビジネス環境」の特区制度認定数が昨年に続き1位、また、対事業所サービス従業者割合も5位と高評価を得た。**文化・交流**の「交流実績」における国際会議・展示会開催件数でも大きく順位を伸ばし3位に躍進した。6位から4位に順位を上げた**研究・開発**では、「研究開発成果」の論文投稿数で評価を上げており、〈大学のまち福岡〉を掲げる同市がその強みを伸ばしていることがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



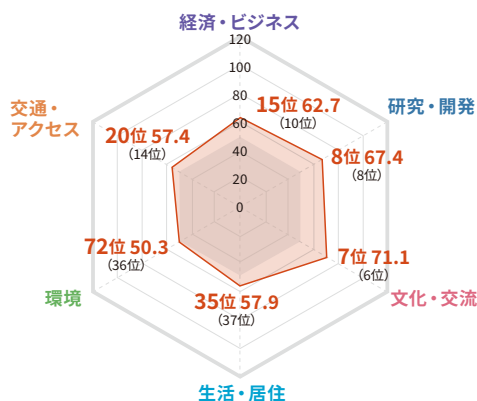
神戸市

KOBE

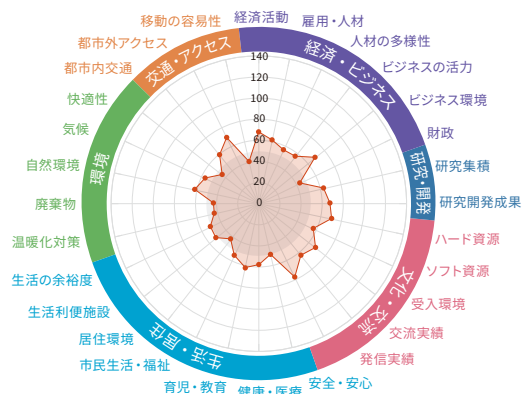
研究開発および文化交流で着実に魅力を強めるバランス型都市

神戸市は、昨年に続き合計スコア6位となった。その強みの一つが**研究・開発**であり、「研究集積」における学術・開発研究機関従業者割合、トップ大学数とともに順位を上げたほか、「研究開発成果」におけるすべての指標においてトップ10を維持している。また**文化・交流**も優れており、「ハード資源」および「発信実績」の合計6指標のうち5指標が堅調にスコアを上げるなど、観光資源とその情報発信のバランスが高水準で推移している都市であることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



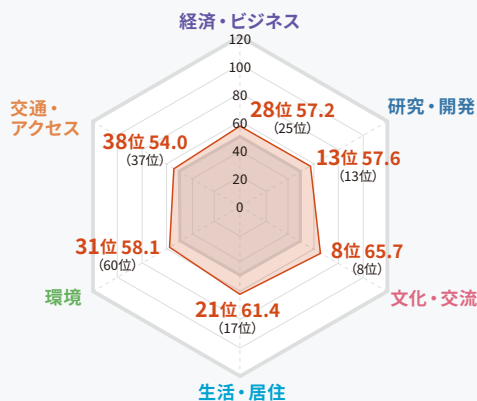
金沢市

KANAZAWA

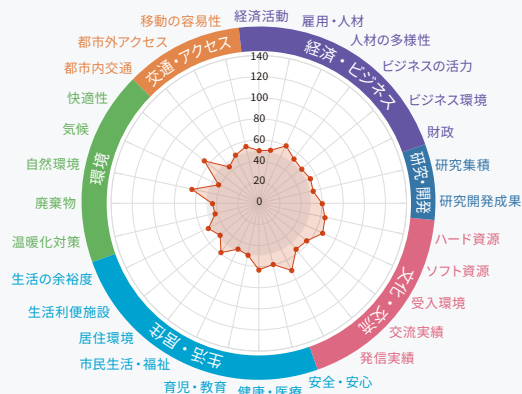
文化的な強みと安定した経済力で人や企業を魅了する都市

昨年から2つ順位を上げた金沢市は、**文化・交流**と**経済・ビジネス**でスコアを伸ばした。**文化・交流**は、イベントの数、国際会議・展示会開催件数でスコアを伸ばしており、多くの人を惹きつけていることがうかがえる。**経済・ビジネス**においては、新規指標であるフレキシブルワークスタイル実施率で高スコアを得たことで、「ビジネス環境」の評価を高めた。豊かな文化と安定した経済力を兼ね備えた金沢市は、人や企業を惹きつける力を持った魅力的な都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



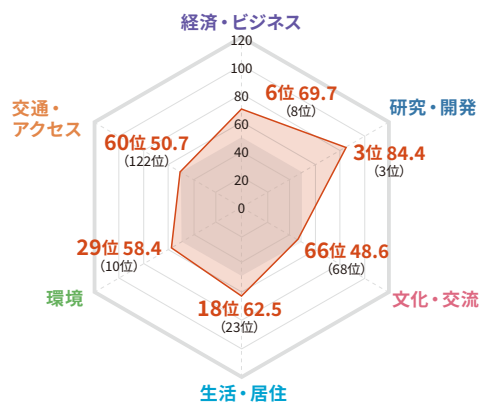
8 つくば市

TSUKUBA

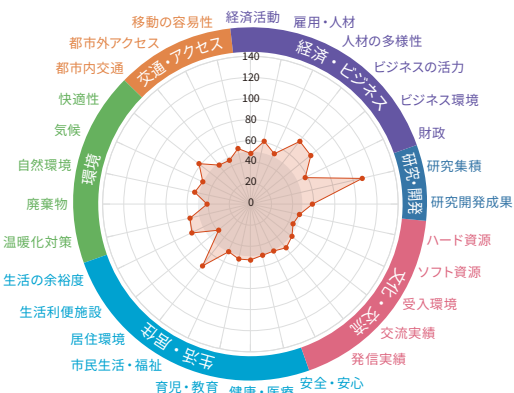
働きやすさと住みやすさの両面で総合力を高める都市

合計スコアにおいて昨年の11位から8位に躍進したつくば市は、その**研究・開発**の強みに加えて、今年は**経済・ビジネス**や**生活・居住**において順位を伸ばした。「ビジネス環境」を構成する3指標でスコアを伸ばし、中でもフレキシブルワークスタイル実施率では5位と高評価を得た。**生活・居住**では、「育児・教育」を構成する指標のうち、子どもの医療費支援や合計特殊出生率で大きくスコアを伸ばし、合計スコアを高める要因となった。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



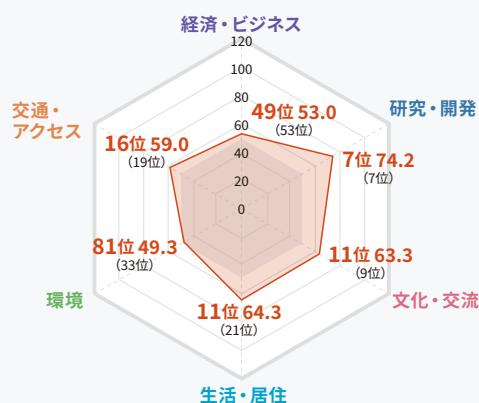
9 仙台市

SENDAI

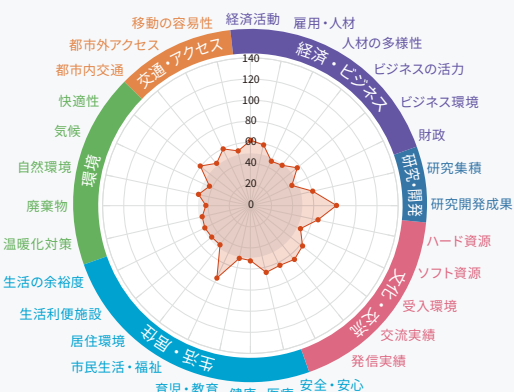
暮らしやすさの魅力にあふれる東北最大の学都

総合力が強みの仙台市は、**経済・ビジネス**、**生活・居住**および**交通・アクセス**の3分野で更に順位を上げた。特に**生活・居住**においては、「健康・医療」を構成する3つの指標のすべてでスコアを伸ばしたほか、「市民生活・福祉」における外国人住民の受入体制が2位を獲得するなど、特筆すべき点が多い。強みである**研究・開発**においても昨年同様に高順位を維持し、また**文化・交流**でも着実にスコアを伸ばすなど、バランスよく成長を続ける都市である。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



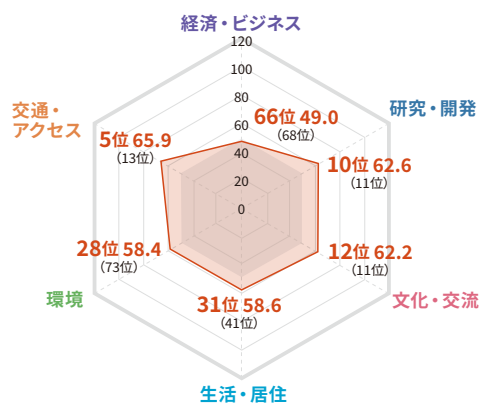
10 広島市

HIROSHIMA

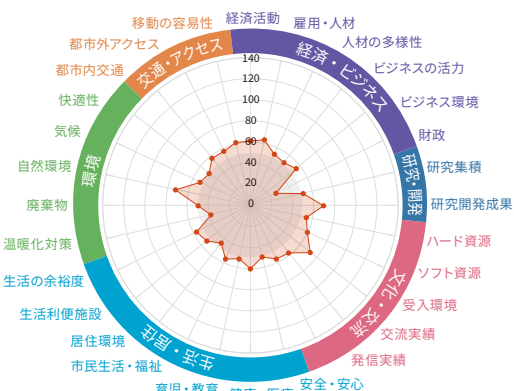
充実した水辺と文化的魅力を併せ持つ平和都市

広島市は**環境**や**文化・交流**でスコアを伸ばし、順位を4つ上げた。**環境**においては、水辺の充実度で高い評価を得ており、広島市の水辺空間に対する政策の熱心さがうかがえる。**文化・交流**では全ての指標グループでスコアを伸ばしているが、中でもイベントの数と国際会議・展示会開催件数のスコア向上に伴って、「ソフト資源」と「交流実績」の魅力度が高まった。さらに、**研究・開発**や**交通・アクセス**においても安定した強みを有していることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



以下では、各分野（経済・ビジネス、研究・開発、文化・交流、生活・居住、環境、交通・アクセス）において、魅力ある6都市を分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いて分析した。※偏差値は対象136都市内で算出。

経済・ビジネス



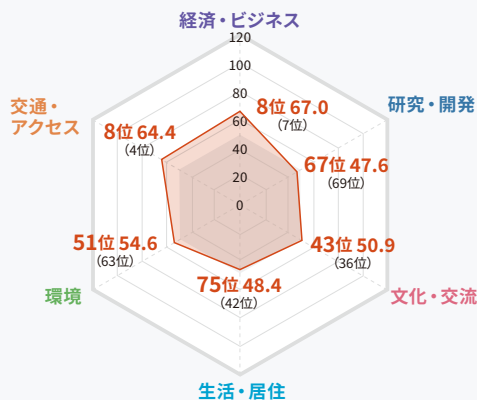
浦安市

URAYASU

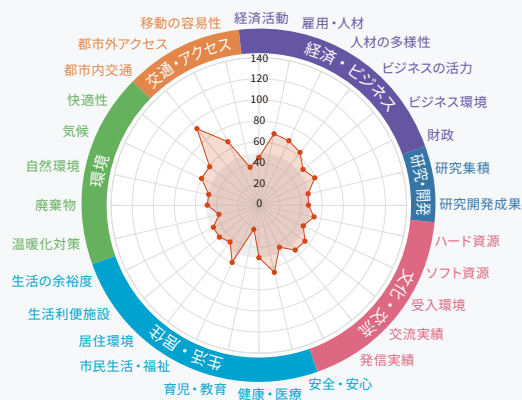
財政の強みとビジネス環境の伸びにより存在感を増している都市

浦安市は**経済・ビジネス**において136都市中8位と高い評価を得ている。特に「財政」のスコアが高く、財政力指数はトップであり、さらに経常収支比率の低さの評価も向上した。今年は「ビジネス環境」でもスコアを伸ばしており、中でも新規指標のフレキシブルワークスタイル実施率では9位と高い順位を獲得した。また、「雇用・人材」においても強みを発揮し、高等教育修了者割合では2位、若手人材の転入出では3位と、上位にランクインしている。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



研究・開発



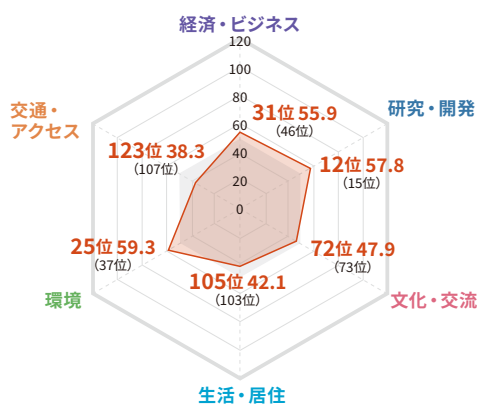
八王子市

HACHIOJI

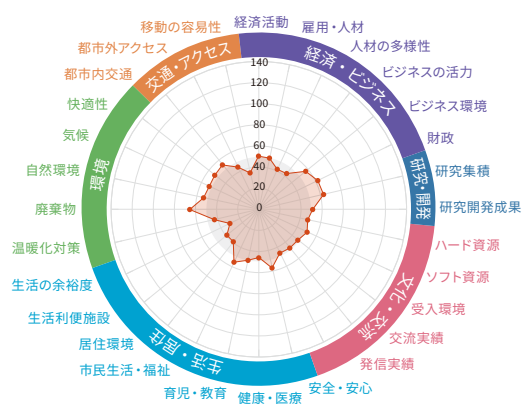
大学や研究機関が集積する学術・研究の一大拠点

研究・開発で抜きん出て魅力をもつ八王子市は、特に「研究集積」における学術・開発研究機関従業者割合とトップ大学数の評価が高い。企業の研究所だけでなく、大学や高等教育機関などが数多く存在する全国でも有数の学園都市であることがその要因に挙げられる。一方、「研究開発成果」におけるグローバルニッチトップ企業数などは改善の余地があり、今後の研究開発活動が、国際的に影響力のある企業の創出へとつながっていくことが期待される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



文化・交流



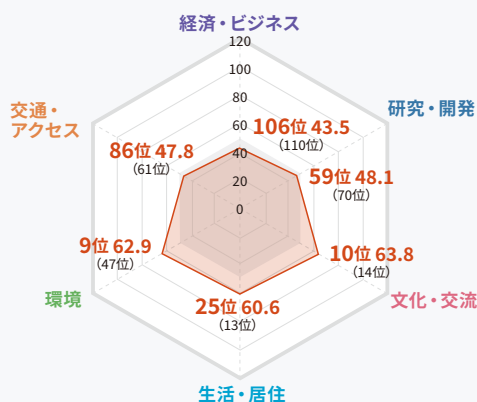
奈良市

NARA

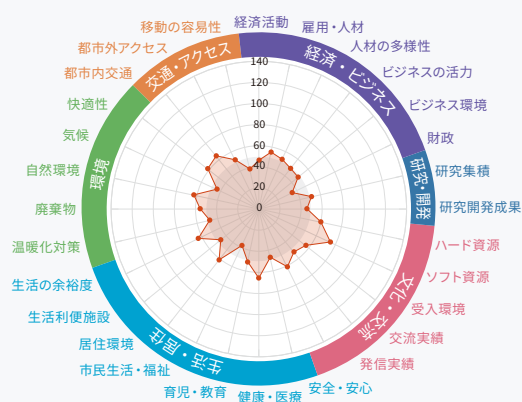
豊かな歴史と文化が織り成す魅力あふれる都市

かつて日本の都として栄え、多くの歴史・文化が継承された古都である奈良市は、**文化・交流**において昨年の14位から10位に順位を伸ばした。その成長を牽引したのが「ソフト資源」におけるイベントの数および文化・歴史・伝統への接触機会のスコアの伸びであり、特に後者は136都市中3位と高い順位を獲得している。強みは「発信実績」にも現れており、自治体SNSフォロワー数と魅力度・認知度・観光意欲度では共に順位を伸ばしている。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

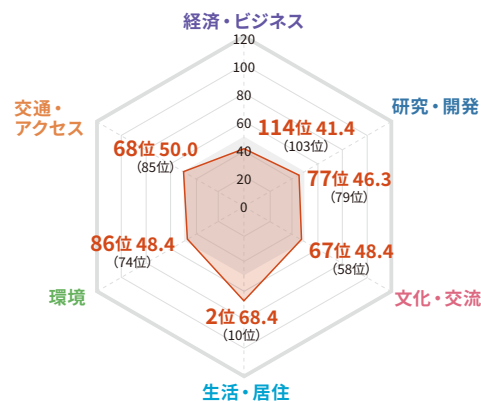




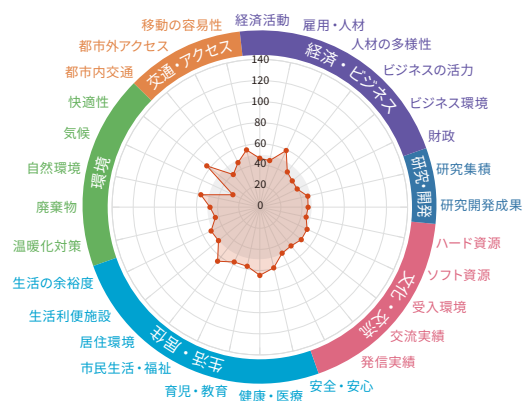
子育て世代を惹きつける自然豊かな創造都市

生活・居住がかねてより最大の強みであった山形市は、今年その順位を2位へと引き上げた。順位変動の大きかった指標は「育児・教育」の合計特殊出生率および子どもの医療費支援、「安全・安心」の刑法犯認知件数の少なさであり、ファミリー層にとつての暮らしやすさが魅力の都市だといえる。同分野の数少ない弱みであった「市民生活・福祉」における外国人住民の受入体制および電子自治体推進度も評価を上げ、今後も生活・居住の高水準な推移が期待される。

分野別の順位・偏差値



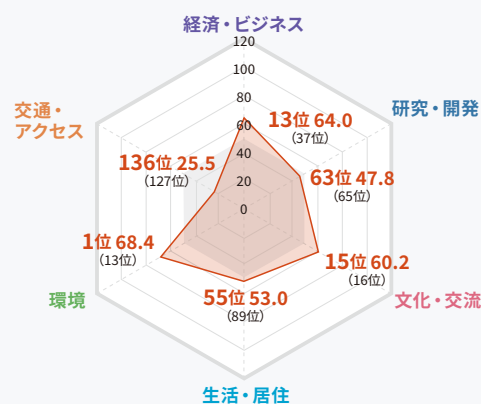
指標グループ別の偏差値



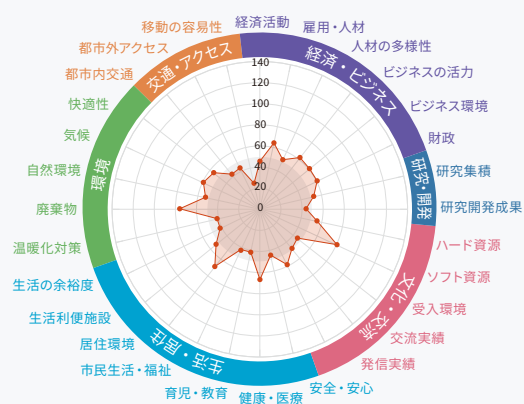
類い稀な地形と自然環境の魅力が人を集め続ける古都

三方を山に囲まれ、南側に海に面した地形の古都鎌倉市は、強みであった環境の順位を昨年の13位から首位まで引き上げた。「自然環境」における自然環境の満足度が8位から2位へと上昇したこと、「気候」における年間日照時間、気温・湿度が快適な日数が好調に推移したことが主な要因である。天候とも密接に結びつくこれらの指標は年により流動的ではあるものの、「廃棄物」におけるリサイクル率が昨年に続き1位を獲得するなど、今後も環境のスコアは高水準を維持するものと期待される。

分野別の順位・偏差値



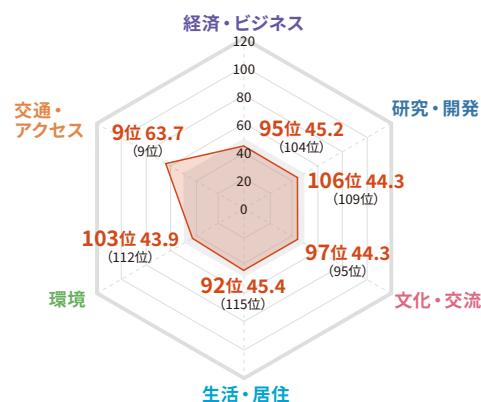
指標グループ別の偏差値



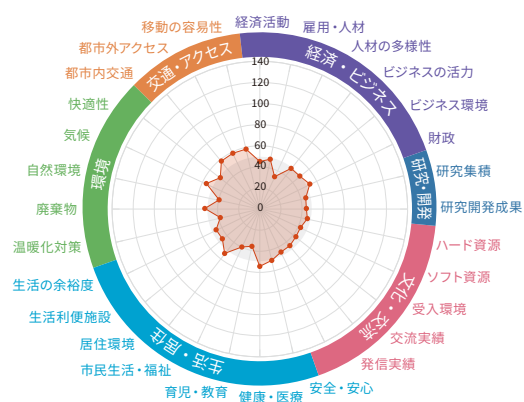
大阪国際空港の近さが強みの交通利便性に優れた都市

伊丹市は交通・アクセスで高い評価を得ているが、その要因として、空港アクセス時間の短さの評価が高いことが挙げられる。その他にも、自転車の利用のしやすさ、鉄道駅・バス停密度、公共交通の利便性のスコアが高いなど、市内交通網や幹線道路が整備されており、市内移動が容易であることも伊丹市の強みといえる。それらの強みが同市の弱みである交通渋滞の少なさの評価向上に寄与することが期待される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	270.3	41	西東京市	169.5
2	福岡市	231.9	42	習志野市	168.6
3	横浜市	221.9	43	町田市	167.8
4	名古屋市	218.9	44	小田原市	166.9
5	安城市	216.3	45	藤沢市	166.7
6	つくば市	214.4	46	静岡市	166.4
7	豊田市	211.7	47	大津市	166.0
8	浦安市	206.3	48	相模原市	165.6
9	立川市	202.8	49	仙台市	164.6
10	調布市	202.6	50	八千代市	163.9
11	小平市	202.2	51	豊橋市	163.7
12	三鷹市	200.0	52	宝塚市	163.4
13	鎌倉市	197.4	53	佐賀市	163.3
14	川崎市	193.9	54	久留米市	161.3
15	神戸市	193.6	55	豊川市	161.0
16	府中市	192.0	56	高槻市	160.1
17	さいたま市	189.5	57	松戸市	159.6
18	四日市市	187.3	58	鈴鹿市	158.9
19	札幌市	186.7	59	宮崎市	158.5
20	吹田市	184.4	60	京都市	157.7
21	市川市	184.0	61	鹿児島市	155.4
22	岐阜市	183.8	62	茅ヶ崎市	154.8
23	柏市	181.5	63	姫路市	154.1
24	岡崎市	178.4	64	倉敷市	153.7
25	流山市	178.2	65	所沢市	153.2
26	日野市	178.1	66	広島市	152.8
27	茨木市	177.8	67	熊本市	152.6
28	金沢市	177.2	68	沼津市	152.5
29	松本市	176.5	69	枚方市	151.7
30	浜松市	176.2	70	春日井市	151.6
31	八王子市	173.4	71	福井市	151.2
32	東広島市	173.3	72	大分市	150.8
33	西宮市	173.3	73	一宮市	150.7
34	長野市	172.8	74	高崎市	150.5
35	豊中市	172.4	75	郡山市	150.3
36	船橋市	171.9	76	太田市	149.0
37	岡山市	171.3	77	熊谷市	148.4
38	福山市	171.0	78	越谷市	148.2
39	川口市	170.1	79	甲府市	147.8
40	厚木市	169.9	80	高松市	147.6

81
~
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,伊勢崎市,川越市,春日部市,上尾市,草加市,千葉市,市原市,横須賀市,平塚市,大和市,新潟市,長岡市,上越市,富山市,富山市,津市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,山口市,徳島市,松山市,高知市,北九州市,長崎市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)



研究・開発

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	113.5	41	茨木市	12.2
2	京都市	94.9	42	長岡市	12.2
3	つくば市	73.5	43	東広島市	12.0
4	福岡市	71.7	44	津市	11.7
5	横浜市	69.1	45	盛岡市	11.2
6	大阪市	66.3	46	藤沢市	11.1
7	仙台市	55.5	47	富山市	11.1
8	神戸市	43.5	48	松山市	10.8
9	札幌市	40.6	49	福島市	10.7
10	広島市	35.1	50	川越市	10.4
11	厚木市	27.9	51	相模原市	10.4
12	八王子市	26.6	52	佐賀市	10.1
13	金沢市	26.2	53	平塚市	10.0
14	吹田市	25.6	54	豊橋市	10.0
15	川崎市	25.3	55	宮崎市	9.9
16	新潟市	24.0	56	府中市	9.9
17	岡山市	22.9	57	前橋市	9.9
18	千葉市	22.2	58	久留米市	9.7
19	北九州市	21.6	59	奈良市	9.5
20	さいたま市	20.6	60	豊田市	9.3
21	浜松市	20.3	61	岡崎市	9.2
22	熊本市	20.2	62	長野市	9.2
23	宇都宮市	19.7	63	鎌倉市	8.9
24	宇治市	19.6	64	福井市	8.9
25	調布市	18.3	65	和歌山市	8.9
26	静岡市	17.8	66	日立市	8.7
27	柏市	16.9	67	浦安市	8.6
28	函館市	16.8	68	市川市	8.3
29	大津市	15.9	69	松戸市	7.7
30	長崎市	15.7	70	倉敷市	7.4
31	秋田市	15.6	71	堺市	7.2
32	豊中市	15.0	72	高知市	6.9
33	鹿児島市	15.0	73	横須賀市	6.9
34	高松市	14.8	74	甲府市	6.7
35	枚方市	14.3	75	松本市	6.4
36	三鷹市	13.5	76	尼崎市	6.4
37	岐阜市	13.4	77	山形市	6.3
38	徳島市	13.2	78	船橋市	6.3
39	高槻市	13.1	79	習志野市	5.9
40	西宮市	12.9	80	大分市	5.8

81
~
136

旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,流山市,八千代市,立川市,町田市,小平市,日野市,西東京市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,沼津市,富山市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,明石市,伊丹市,加古川市,宝塚市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,福山市,下関市,山口市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)



文化・交流

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	319.5	41	松江市	78.0
2	大阪市	296.4	42	岐阜市	78.0
3	横浜市	285.2	43	浦安市	76.6
4	福岡市	188.6	44	長岡市	76.6
5	札幌市	181.4	45	甲府市	76.0
6	名古屋	179.1	46	いわき市	75.5
7	神戸市	176.0	47	川崎市	75.5
8	金沢市	149.7	48	大分市	74.1
9	長崎市	140.4	49	徳島市	74.0
10	奈良市	140.1	50	宮崎市	72.7
11	仙台市	137.8	51	高知市	71.7
12	広島市	132.5	52	鳥取市	71.1
13	北九州市	130.1	53	堺市	69.5
14	那覇市	124.1	54	佐世保市	69.5
15	鎌倉市	122.4	55	宇治市	68.9
16	松本市	121.8	56	宇都宮市	68.5
17	静岡市	118.5	57	府中市	68.5
18	函館市	117.9	58	藤沢市	68.3
19	姫路市	108.3	59	福島市	68.3
20	熊本市	103.4	60	山口市	67.6
21	浜松市	102.7	61	高崎市	67.3
22	鹿児島市	100.7	62	青森市	66.9
23	盛岡市	99.4	63	旭川市	66.8
24	松山市	99.2	64	郡山市	66.7
25	さいたま市	93.9	65	横須賀市	66.3
26	高松市	93.5	66	つくば市	65.2
27	長野市	92.9	67	山形市	64.2
28	川越市	92.9	68	秋田市	64.1
29	倉敷市	92.1	69	前橋市	63.9
30	千葉市	86.9	70	豊田市	63.6
31	大津市	86.4	71	福井市	63.5
32	小田原市	85.5	72	八王子市	61.9
33	出雲市	84.7	73	津市	61.7
34	水戸市	83.2	74	岡崎市	60.3
35	下関市	82.9	75	西宮市	58.5
36	新潟市	82.6	76	久留米市	58.4
37	岡山市	82.3	77	宝塚市	55.4
38	沼津市	82.1	78	明石市	55.2
39	和歌山市	80.8	79	相模原市	54.5
40	富山市	80.4	80	佐賀市	54.4

苦小牧市,八戸市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,立川市,三鷹市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,富士市,豊橋市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,豊中市,吹田市,高槻市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,呉市,福山市,東広島市

(市区町村コード順)



生活・居住

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	337.6	41	大阪市	305.2
2	山形市	336.7	42	鳥取市	303.4
3	大分市	332.3	43	京都市	302.9
4	吹田市	331.1	44	柏市	302.7
5	豊橋市	330.0	45	長崎市	302.4
6	豊中市	329.5	46	岡山市	302.3
7	出雲市	327.6	47	八千代市	302.0
8	宇都宮市	326.4	48	さいたま市	299.4
9	前橋市	326.2	49	徳島市	299.4
10	福井市	326.0	50	枚方市	299.3
11	仙台市	325.7	51	高松市	298.6
12	安城市	325.2	52	高崎市	298.4
13	浜松市	324.8	53	宝塚市	297.2
14	熊本市	324.5	54	静岡市	296.6
15	岡崎市	323.1	55	鎌倉市	295.9
16	松本市	321.9	56	松江市	294.6
17	鹿児島市	321.7	57	山口市	294.4
18	つくば市	321.2	58	倉敷市	294.2
19	福岡市	318.9	59	所沢市	294.0
20	宮崎市	318.1	60	水戸市	294.0
21	金沢市	318.1	61	横浜市	293.9
22	豊川市	317.6	62	三鷹市	293.4
23	富山市	317.1	63	北九州市	293.2
24	高槻市	316.7	64	盛岡市	291.6
25	奈良市	316.2	65	川越市	291.1
26	流山市	314.4	66	甲府市	290.9
27	豊田市	314.0	67	茅ヶ崎市	290.4
28	春日井市	313.3	68	秋田市	288.3
29	岐阜市	313.0	69	藤沢市	288.0
30	西宮市	312.7	70	津市	287.7
31	広島市	310.7	71	堺市	285.6
32	佐賀市	310.3	72	郡山市	285.3
33	茨木市	310.1	73	和歌山市	285.2
34	新潟市	309.2	74	千葉市	285.1
35	神戸市	308.9	75	浦安市	283.9
36	長野市	308.5	76	札幌市	283.7
37	久留米市	307.2	77	松山市	282.3
38	一宮市	306.6	78	富士市	282.2
39	明石市	306.3	79	東広島市	281.9
40	大津市	305.5	80	上尾市	281.5

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,春日部市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,市原市,八王子市,立川市,府中市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,相模原市,横須賀市,平塚市,小田原市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,沼津市,四日市市,鈴鹿市,宇治市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,呉市,福山市,下関市,高知市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)

分野別スコア

Function-Specific Scores



環境

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	鎌倉市	319.2	41	熊本市	285.0
2	豊橋市	313.7	42	所沢市	285.0
3	浜松市	312.1	43	静岡市	284.6
4	日野市	308.1	44	沼津市	283.7
5	宮崎市	307.4	45	西宮市	283.7
6	前橋市	307.1	46	日立市	281.3
7	津市	306.0	47	水戸市	281.1
8	府中市	304.4	48	宇治市	280.6
9	奈良市	303.5	49	茅ヶ崎市	280.5
10	豊川市	303.2	50	小田原市	280.3
11	調布市	302.8	51	浦安市	280.0
12	鳥取市	301.6	52	高知市	279.8
13	大津市	299.1	53	下関市	279.6
14	松江市	298.3	54	東広島市	279.6
15	豊田市	298.2	55	西東京市	279.2
16	山口市	298.0	56	和泉市	279.1
17	高崎市	297.6	57	町田市	278.7
18	小平市	297.3	58	盛岡市	276.8
19	立川市	296.3	59	横浜市	276.6
20	富山市	295.3	60	佐世保市	275.1
21	三鷹市	295.1	61	秋田市	274.6
22	長野市	294.7	62	高松市	274.0
23	松山市	294.1	63	鹿児島市	273.5
24	松本市	293.7	64	いわき市	273.3
25	八王子市	293.5	65	徳島市	271.6
26	出雲市	292.0	66	呉市	271.0
27	宝塚市	291.9	67	相模原市	270.6
28	広島市	290.9	68	大分市	270.4
29	つくば市	290.8	69	富士市	269.7
30	佐賀市	290.8	70	姫路市	269.3
31	金沢市	289.9	71	宇都宮市	269.0
32	横須賀市	288.9	72	神戸市	267.7
33	新潟市	288.9	73	春日井市	267.6
34	平塚市	288.0	74	太田市	267.1
35	流山市	287.1	75	枚方市	266.2
36	安城市	286.3	76	千葉市	266.1
37	藤沢市	285.8	77	久留米市	265.9
38	岐阜市	285.5	78	明石市	265.5
39	高槻市	285.3	79	川越市	265.4
40	岡崎市	285.3	80	豊中市	265.2

81
~
136
札幌市、函館市、旭川市、苫小牧市、青森市、八戸市、仙台市、山形市、福島市、郡山市、伊勢崎市、さいたま市、熊谷市、川口市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、市原市、八千代市、川崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、福井市、甲府市、名古屋市、一宮市、四日市市、鈴鹿市、京都市、大阪市、堺市、岸和田市、吹田市、茨木市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、尼崎市、伊丹市、加古川市、和歌山市、岡山市、倉敷市、福山市、北九州市、福岡市、長崎市、那覇市

(市区町村コード順)



交通・アクセス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	205.7	41	三鷹市	124.6
2	名古屋市	197.4	42	苫小牧市	124.2
3	福岡市	186.4	43	岐阜市	123.0
4	尼崎市	149.4	44	富山市	122.5
5	広島市	147.3	45	一宮市	121.5
6	静岡市	146.0	46	高槻市	121.3
7	京都市	144.8	47	鳥取市	120.8
8	浦安市	144.5	48	福島市	120.8
9	伊丹市	143.0	49	八戸市	120.8
10	横浜市	138.2	50	佐賀市	120.4
11	千葉市	137.0	51	高知市	120.2
12	豊中市	136.0	52	長岡市	120.1
13	東広島市	135.5	53	倉敷市	119.9
14	堺市	134.5	54	長野市	119.7
15	東大阪市	134.3	55	市川市	119.6
16	仙台市	134.3	56	高松市	119.5
17	新潟市	132.1	57	宮崎市	119.3
18	青森市	131.9	58	寝屋川市	118.9
19	北九州市	131.8	59	松江市	118.8
20	神戸市	131.2	60	つくば市	118.6
21	函館市	130.4	61	郡山市	118.3
22	久留米市	130.1	62	福山市	118.2
23	鹿児島市	130.0	63	旭川市	118.1
24	盛岡市	129.8	64	姫路市	117.9
25	川崎市	129.7	65	さいたま市	117.8
26	茨木市	129.6	66	川口市	117.6
27	秋田市	129.0	67	安城市	117.3
28	吹田市	128.9	68	山形市	117.3
29	府中市	128.6	69	豊田市	117.2
30	八尾市	128.3	70	四日市市	117.0
31	岸和田市	128.2	71	鈴鹿市	116.8
32	西宮市	127.6	72	福井市	116.8
33	山口市	127.4	73	津市	116.5
34	松山市	126.4	74	大分市	116.5
35	立川市	125.9	75	岡崎市	116.4
36	松本市	125.7	76	春日井市	115.7
37	市原市	125.3	77	調布市	115.5
38	金沢市	124.8	78	平塚市	115.1
39	岡山市	124.8	79	和歌山市	114.8
40	熊本市	124.7	80	和泉市	114.4

81
~
136
札幌市、いわき市、水戸市、日立市、宇都宮市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、川越市、熊谷市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、八王子市、町田市、小平市、日野市、西東京市、相模原市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、上越市、甲府市、浜松市、沼津市、富士市、豊橋市、豊川市、大津市、宇治市、枚方市、明石市、加古川市、宝塚市、奈良市、出雲市、呉市、下関市、徳島市、長崎市、佐世保市、那覇市

(市区町村コード順)

合計スコア

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	1,336.9	41	佐賀市	949.2
2	名古屋市	1,292.5	42	出雲市	948.2
3	横浜市	1,284.9	43	高松市	947.9
4	京都市	1,268.1	44	鳥取市	945.0
5	福岡市	1,256.5	45	立川市	944.2
6	神戸市	1,120.9	46	千葉市	941.9
7	金沢市	1,085.9	47	高槻市	941.7
8	つくば市	1,083.7	48	宇都宮市	938.6
9	仙台市	1,082.5	49	盛岡市	938.3
10	広島市	1,069.2	50	豊川市	937.3
11	浜松市	1,047.1	51	前橋市	936.3
12	松本市	1,046.0	52	長崎市	933.6
13	札幌市	1,039.1	53	久留米市	932.5
14	静岡市	1,029.9	54	松江市	930.4
15	奈良市	1,019.0	55	藤沢市	928.8
16	鎌倉市	1,015.0	56	津市	928.8
17	豊田市	1,014.0	57	東広島市	925.7
18	熊本市	1,010.5	58	山口市	925.6
19	浦安市	999.9	59	福井市	923.1
20	長野市	997.9	60	川崎市	923.1
21	岐阜市	996.7	61	姫路市	922.2
22	鹿児島市	996.2	62	茨木市	922.0
23	宮崎市	986.1	63	八王子市	917.7
24	府中市	983.0	64	山形市	917.2
25	豊橋市	982.4	65	高崎市	914.2
26	さいたま市	981.3	66	宝塚市	911.8
27	大津市	977.3	67	水戸市	910.1
28	三鷹市	976.0	68	倉敷市	907.1
29	安城市	974.9	69	小田原市	906.0
30	岡崎市	972.8	70	那覇市	905.7
31	富山市	972.0	71	川越市	901.9
32	吹田市	969.3	72	徳島市	899.2
33	西宮市	968.6	73	流山市	898.1
34	岡山市	966.6	74	小平市	898.0
35	新潟市	961.4	75	沼津市	895.6
36	松山市	957.4	76	宇治市	894.6
37	北九州市	956.8	77	日野市	892.9
38	調布市	955.7	78	秋田市	889.1
39	豊中市	955.0	79	一宮市	886.2
40	大分市	949.9	80	枚方市	880.4

81
↓
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,郡山市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,八千代市,町田市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,甲府市,富士市,春日井市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,和歌山市,呉市,福山市,下関市,高知市,佐世保市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では、「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコア算出のために、まずは、各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、87指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル

指標数25/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	55.1	41	富山市	45.4
2	豊中市	53.3	42	鳥取市	45.2
3	福岡市	53.0	43	新潟市	45.1
4	浦安市	51.7	44	調布市	45.1
5	大阪市	51.7	45	山口市	45.1
6	吹田市	50.8	46	秋田市	45.0
7	西宮市	50.1	47	松山市	45.0
8	仙台市	49.0	48	流山市	44.9
9	広島市	48.7	49	東広島市	44.8
10	神戸市	48.7	50	習志野市	44.8
11	鹿児島市	48.6	51	出雲市	44.6
12	豊橋市	48.5	52	枚方市	44.6
13	静岡市	48.3	53	堺市	44.6
14	浜松市	48.0	54	高松市	44.5
15	高槻市	47.9	55	長崎市	44.4
16	岡崎市	47.7	56	市川市	44.4
17	三鷹市	47.5	57	岡山市	44.4
18	安城市	47.4	58	高知市	43.9
19	茨木市	47.3	59	福井市	43.9
20	府中市	47.0	60	つくば市	43.8
21	横浜市	46.7	61	盛岡市	43.6
22	京都市	46.7	62	津市	43.5
23	伊丹市	46.6	63	さいたま市	43.4
24	金沢市	46.4	64	松江市	43.4
25	宮崎市	46.4	65	藤沢市	43.4
26	岐阜市	46.4	66	久留米市	43.3
27	奈良市	46.3	67	八千代市	43.3
28	豊川市	46.2	68	山形市	43.3
29	大分市	46.2	69	川崎市	43.2
30	佐賀市	46.1	70	長野市	43.1
31	熊本市	46.1	71	和歌山市	43.0
32	松本市	46.1	72	高崎市	42.8
33	明石市	45.9	73	鎌倉市	42.7
34	春日井市	45.8	74	日野市	42.7
35	宝塚市	45.8	75	所沢市	42.7
36	北九州市	45.8	76	大津市	42.6
37	宇都宮市	45.8	77	宇治市	42.5
38	豊田市	45.6	78	川崎市	42.4
39	一宮市	45.6	79	小平市	42.4
40	千葉市	45.5	80	倉敷市	42.2

81 札幌市、函館市、旭川市、苫小牧市、青森市、八戸市、福島市、郡山市、いわき市、水戸市、日立市、前橋市、伊勢崎市、太田市、熊谷市、川口市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、船橋市、松戸市、柏市、市原市、八王子市、立川市、町田市、西東京市、相模原市、横須賀市、平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、甲府市、沼津市、富士市、136 四日市市、鈴鹿市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、和泉市、東大阪市、姫路市、尼崎市、加古川市、呉市、福山市、下関市、徳島市、佐世保市、那覇市

(市区町村コード順)



ファミリー

指標数42/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	53.4	41	松山市	47.1
2	名古屋市	52.0	42	松江市	47.1
3	仙台市	50.4	43	山形市	47.0
4	大阪市	50.4	44	安城市	47.0
5	鹿児島市	50.3	45	大津市	46.8
6	熊本市	50.2	46	福井市	46.6
7	金沢市	50.2	47	秋田市	46.6
8	豊中市	50.1	48	長崎市	46.5
9	宮崎市	50.1	49	水戸市	46.4
10	神戸市	49.9	50	高松市	46.2
11	新潟市	49.9	51	春日井市	46.1
12	広島市	49.8	52	長野市	46.1
13	豊橋市	49.6	53	岡山市	45.9
14	富山市	49.6	54	明石市	45.9
15	西宮市	49.4	55	一宮市	45.7
16	岐阜市	49.4	56	高崎市	45.7
17	高槻市	49.1	57	津市	45.6
18	鳥取市	49.1	58	徳島市	45.6
19	浜松市	48.7	59	宝塚市	45.6
20	横浜市	48.7	60	高知市	45.5
21	奈良市	48.5	61	流山市	45.5
22	松本市	48.5	62	千葉市	45.4
23	つくば市	48.4	63	三鷹市	45.4
24	出雲市	48.4	64	和歌山市	45.3
25	大分市	48.4	65	府中市	45.1
26	静岡市	48.3	66	堺市	45.0
27	佐賀市	48.3	67	さいたま市	44.9
28	吹田市	47.9	68	枚方市	44.4
29	山口市	47.7	69	青森市	44.4
30	浦安市	47.7	70	和泉市	44.2
31	前橋市	47.5	71	姫路市	44.1
32	岡崎市	47.5	72	東広島市	43.9
33	久留米市	47.5	73	佐世保市	43.8
34	盛岡市	47.5	74	藤沢市	43.7
35	豊川市	47.4	75	札幌市	43.7
36	北九州市	47.4	76	鎌倉市	43.6
37	豊田市	47.3	77	川崎市	43.5
38	茨木市	47.2	78	伊丹市	43.4
39	宇都宮市	47.1	79	福島市	43.4
40	京都市	47.1	80	調布市	43.4

函館市、旭川市、苫小牧市、八戸市、郡山市、いわき市、日立市、伊勢崎市、太田市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、市原市、八千代市、八王子市、立川市、町田市、小平市、日野市、西東京市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、136 甲府市、沼津市、富士市、四日市市、鈴鹿市、宇治市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、尼崎市、加古川市、倉敷市、呉市、福山市、下関市、那覇市

(市区町村コード順)



シニア

指標数36/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	豊橋市	52.2	41	横浜市	47.7
2	松本市	51.9	42	盛岡市	47.5
3	福岡市	51.6	43	津市	47.4
4	浦安市	51.4	44	久留米市	47.4
5	金沢市	51.3	45	府中市	47.4
6	浜松市	51.2	46	東広島市	47.3
7	広島市	51.2	47	大津市	47.2
8	仙台市	51.1	48	茨木市	47.0
9	出雲市	51.0	49	高知市	46.8
10	宮崎市	50.7	50	水戸市	46.7
11	西宮市	50.4	51	福井市	46.5
12	豊田市	50.1	52	徳島市	46.4
13	熊本市	50.0	53	松山市	46.4
14	岡崎市	49.7	54	京都市	46.4
15	佐賀市	49.6	55	秋田市	46.3
16	豊川市	49.4	56	宝塚市	46.2
17	長野市	49.4	57	岡山市	46.0
18	富山市	49.4	58	佐世保市	45.9
19	安城市	49.2	59	高松市	45.8
20	つくば市	49.2	60	北九州市	45.7
21	高槻市	49.2	61	明石市	45.4
22	岐阜市	49.1	62	枚方市	45.4
23	前橋市	49.1	63	小田原市	45.0
24	大分市	49.0	64	調布市	45.0
25	静岡市	48.9	65	所沢市	45.0
26	鹿児島市	48.8	66	藤沢市	45.0
27	奈良市	48.6	67	春日井市	44.8
28	鳥取市	48.5	68	一宮市	44.8
29	山口市	48.5	69	茅ヶ崎市	44.7
30	豊中市	48.4	70	流山市	44.6
31	山形市	48.3	71	鎌倉市	44.5
32	松江市	48.2	72	千葉市	44.4
33	神戸市	48.2	73	宇治市	44.3
34	吹田市	48.1	74	川越市	44.3
35	名古屋市	48.1	75	平塚市	44.3
36	三鷹市	47.9	76	日立市	44.2
37	高崎市	47.9	77	郡山市	43.9
38	宇都宮市	47.9	78	相模原市	43.9
39	長崎市	47.7	79	八王子市	43.9
40	新潟市	47.7	80	小平市	43.8

81 札幌市,函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,いわき市,伊勢崎市,太田市,
さいたま市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,
習志野市,柏市,市原市,八千代市,立川市,町田市,日野市,西東京市,川崎市,横須賀市,
厚木市,大和市,長岡市,上越市,甲府市,沼津市,富士市,四日市市,鈴鹿市,大阪市,堺市,
136 岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,
和歌山市,倉敷市,呉市,福山市,下関市,那覇市

(市区町村コード順)



観光客

指標数35/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	横浜市	53.7	41	大分市	31.6
2	京都市	53.1	42	鳥取市	31.6
3	大阪市	53.0	43	藤沢市	31.3
4	福岡市	46.0	44	高槻市	31.2
5	名古屋市	43.6	45	調布市	31.1
6	神戸市	42.6	46	岡山市	31.0
7	広島市	40.7	47	川越市	30.9
8	金沢市	40.0	48	豊田市	30.9
9	奈良市	39.7	49	三鷹市	30.8
10	仙台市	38.0	50	水戸市	30.8
11	静岡市	37.6	51	高知市	30.7
12	札幌市	36.8	52	つくば市	30.5
13	浦安市	36.5	53	宝塚市	30.3
14	松本市	36.4	54	津市	30.3
15	鎌倉市	35.8	55	川崎市	30.3
16	北九州市	35.3	56	宇治市	30.2
17	盛岡市	35.1	57	岡崎市	30.2
18	長崎市	35.1	58	和歌山市	30.2
19	熊本市	35.1	59	横須賀市	30.2
20	鹿児島市	34.2	60	長岡市	30.0
21	新潟市	34.2	61	下関市	29.9
22	府中市	33.7	62	佐賀市	29.9
23	浜松市	33.7	63	沼津市	29.9
24	千葉市	33.4	64	徳島市	29.9
25	大津市	33.4	65	秋田市	29.8
26	松山市	32.9	66	豊橋市	29.8
27	松江市	32.8	67	立川市	29.7
28	長野市	32.7	68	八王子市	29.6
29	西宮市	32.6	69	山形市	29.4
30	さいたま市	32.5	70	青森市	29.3
31	出雲市	32.4	71	高崎市	29.3
32	山口市	32.4	72	宇都宮市	29.3
33	岐阜市	32.3	73	久留米市	29.2
34	富山市	32.2	74	佐世保市	29.2
35	那覇市	32.2	75	倉敷市	29.1
36	函館市	32.0	76	福島市	29.1
37	小田原市	31.8	77	豊中市	29.0
38	宮崎市	31.7	78	東広島市	28.9
39	高松市	31.7	79	吹田市	28.8
40	姫路市	31.6	80	福井市	28.8

旭川市,苫小牧市,八戸市,郡山市,いわき市,日立市,前橋市,伊勢崎市,太田市,
熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,
81 習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,
平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,甲府市,富士市,一宮市,春日井市,豊川市,
136 安城市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,
東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,呉市,福山市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores



経営者

指標数36/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	54.1	41	千葉市	27.2
2	名古屋市	46.3	42	鹿児島市	27.1
3	福岡市	43.0	43	豊橋市	27.0
4	横浜市	40.6	44	厚木市	26.8
5	京都市	36.0	45	長野市	26.7
6	神戸市	35.7	46	八王子市	26.7
7	浦安市	35.6	47	福山市	26.6
8	札幌市	34.0	48	豊川市	26.5
9	仙台市	32.8	49	高槻市	26.3
10	つくば市	32.8	50	鎌倉市	26.3
11	安城市	32.1	51	川口市	26.3
12	豊田市	31.8	52	藤沢市	26.2
13	川崎市	31.5	53	熊本市	26.1
14	吹田市	31.0	54	鈴鹿市	26.1
15	調布市	30.9	55	倉敷市	26.0
16	金沢市	30.8	56	宮崎市	25.9
17	三鷹市	30.8	57	宝塚市	25.9
18	府中市	30.6	58	佐賀市	25.9
19	さいたま市	30.5	59	富山市	25.8
20	広島市	30.0	60	郡山市	25.7
21	立川市	29.9	61	西東京市	25.7
22	市川市	29.8	62	北九州市	25.6
23	四日市市	29.5	63	相模原市	25.6
24	岡山市	29.2	64	春日井市	25.5
25	西宮市	29.1	65	八千代市	25.5
26	豊中市	29.0	66	久留米市	25.3
27	静岡市	28.9	67	伊丹市	25.3
28	小平市	28.8	68	福井市	25.3
29	岐阜市	28.7	69	宇都宮市	25.3
30	東広島市	28.5	70	市原市	25.2
31	茨木市	28.5	71	高松市	25.2
32	浜松市	28.4	72	姫路市	25.1
33	松本市	28.0	73	大分市	25.1
34	岡崎市	27.8	74	那覇市	25.1
35	習志野市	27.7	75	堺市	25.0
36	日野市	27.6	76	尼崎市	25.0
37	船橋市	27.3	77	松山市	24.9
38	大津市	27.3	78	一宮市	24.9
39	柏市	27.2	79	新潟市	24.9
40	流山市	27.2	80	町田市	24.9

81 函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,松戸市,横須賀市,平塚市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,甲府市,沼津市,富士市,津市,宇治市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,明石市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,山口市,徳島市,高知市,長崎市,佐世保市

(市区町村コード順)



従業者

指標数19/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	51.8	41	川口市	32.3
2	名古屋市	46.8	42	松江市	32.2
3	福岡市	44.3	43	伊丹市	32.2
4	浦安市	40.0	44	宮崎市	32.1
5	横浜市	39.1	45	さいたま市	32.0
6	広島市	37.0	46	鳥取市	31.9
7	京都市	36.8	47	堺市	31.9
8	川崎市	36.8	48	習志野市	31.8
9	三鷹市	36.0	49	山形市	31.7
10	豊中市	35.7	50	山口市	31.6
11	神戸市	35.5	51	新潟市	31.6
12	鹿児島市	35.4	52	松山市	31.6
13	調布市	35.1	53	豊田市	31.1
14	静岡市	35.0	54	奈良市	31.0
15	西宮市	34.8	55	豊橋市	31.0
16	尼崎市	34.5	56	津市	30.9
17	岐阜市	34.5	57	一宮市	30.9
18	安城市	34.4	58	八千代市	30.9
19	久留米市	34.4	59	札幌市	30.8
20	市川市	34.4	60	高松市	30.7
21	金沢市	34.2	61	秋田市	30.6
22	東広島市	34.1	62	四日市市	30.5
23	福井市	34.1	63	下関市	30.4
24	熊本市	33.9	64	長崎市	30.2
25	府中市	33.8	65	函館市	30.2
26	松本市	33.8	66	東大阪市	30.1
27	吹田市	33.8	67	八尾市	30.0
28	佐賀市	33.7	68	徳島市	30.0
29	富山市	33.4	69	甲府市	30.0
30	千葉市	33.3	70	高槻市	29.9
31	つくば市	33.3	71	福島市	29.9
32	出雲市	33.2	72	岡崎市	29.8
33	盛岡市	33.0	73	浜松市	29.8
34	立川市	33.0	74	日野市	29.7
35	高知市	33.0	75	岸和田市	29.7
36	長野市	32.8	76	倉敷市	29.6
37	北九州市	32.8	77	船橋市	29.4
38	仙台市	32.8	78	福山市	29.4
39	茨木市	32.6	79	小田原市	29.4
40	岡山市	32.4	80	大分市	29.4

旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八王子市,町田市,小平市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,藤沢市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,沼津市,富士市,春日井市,豊川市,鈴鹿市,大津市,宇治市,枚方市,寝屋川市,和泉市,姫路市,明石市,加古川市,宝塚市,和歌山市,呉市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)

合計スコアの上位6区について、指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。

※偏差値は東京23区内で算出。

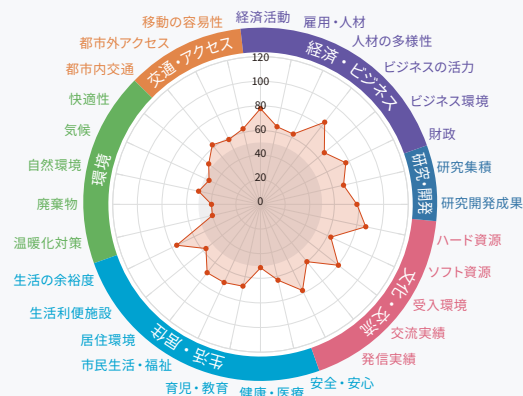
1

港区

MINATO-CITY

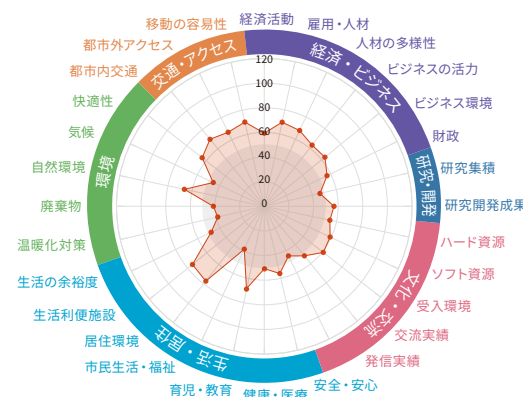
港区は、今年合計スコアで首位となった。その背景には、**経済・ビジネス**での高評価が挙げられる。付加価値額と労働生産性で高スコアを獲得するとともに、新規指標であるフレキシブルワークスタイル実施率でも高スコアを獲得したことが主な要因である。また、**文化・交流**においてもスコアを伸ばしており、国際会議・展示会開催件数を含む「交流実績」で評価を上げた。魅力を増した港区の今後の成長には大きな期待が寄せられる。

指標グループ別の偏差値



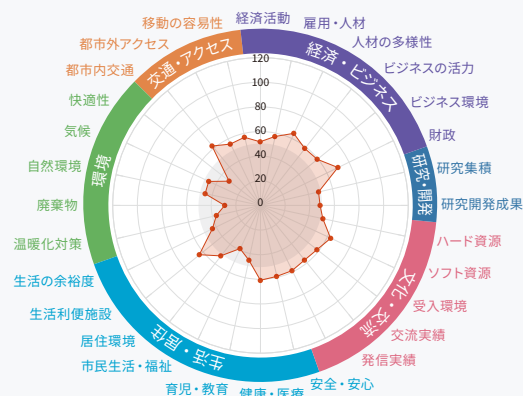
全分野の極めて高水準なバランスが強みの中央区は、**生活・居住・交通・アクセス**の両分野で首位を獲得した。**生活・居住**においては「安全・安心」の刑法犯認知件数の少なさ、「育児・教育」の合計特殊出生率などでスコアを上げ、**交通・アクセス**の「移動の容易性」における自転車の利用のしやすさも好調に推移している。暮らしやすさに加え、**環境**の評価も高いため、子育て世代からの人気の高さがうかがえる。

指標グループ別の偏差値



経済・ビジネス、文化・交流、生活・居住、交通・アクセスの4分野でトップ5入りをしている渋谷区は総合力の高さがうかがえる。**経済・ビジネス**の「ビジネス環境」を構成する3指標全てで高順位を獲得し、スコアも伸ばしている。**文化・交流**では「ソフト資源」における評価が高く、クリエイティブ産業従業者割合ではトップを獲得している。再開発による都市空間の再整備が進む渋谷区では、今後これらの強みがさらに強化されることが期待できる。

指標グループ別の偏差値



渋谷区

SHIBUYA-CITY

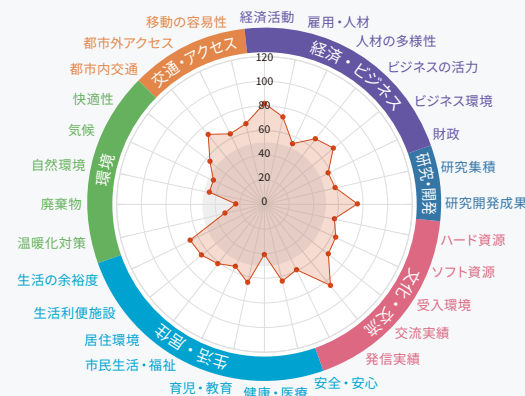
2

千代田区

CHIYODA-CITY

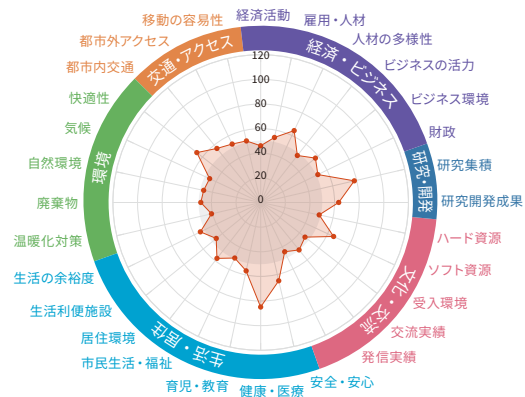
日本の政治・経済の中心地として知られる千代田区は、**環境**以外の全分野でトップ3入りしており、その強みは**経済・ビジネス**だけに留まらず、総合的な魅力をもっている。特に今年は1位の**文化・交流**においてスコアを伸ばしており、「ソフト資源」のイベント数や、「交流実績」の国際会議・展示会開催件数などが向上した。東京都心の中心地である千代田区が、多くの人の交流やにぎわいを生んでいることがわかる。

指標グループ別の偏差値



合計スコアで2つ順位を上げた文京区は、順位を下げた分野がなく、**環境と交通・アクセス**では順位を上げている。**環境**では、年間日照時間で高スコアを獲得しており、「気候」の評価を上げた。**交通・アクセス**では、鉄道駅・バス停密度でスコアを伸ばしており、相対的に「都市内交通」の利便性が高まったといえる。文京区は**研究・開発**や**生活・居住**の評価も高くバランスのとれた都市である。

指標グループ別の偏差値



文京区

BUNKYO-CITY

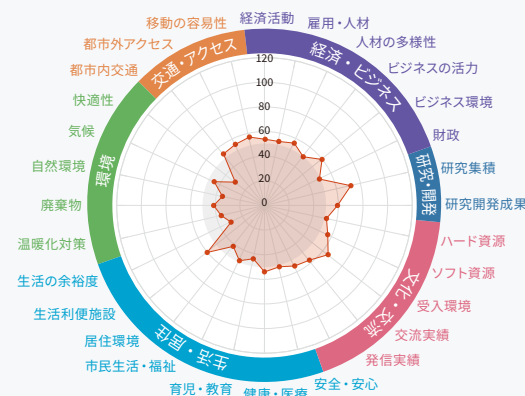
6

新宿区

SHINJUKU-CITY

ビジネス街と歓楽街を備えた新宿区は今年、**経済・ビジネス、研究・開発、文化・交流、交通・アクセス**において23区中トップ5にランクインした。「研究集積」における学術・開発研究機関従業者割合の評価は13位から2位に上昇し、**研究・開発**の今後の更なる成長が期待される。また「交流実績」の国際会議・展示会開催件数が4位に上昇するなど、**文化・交流**の面でも多機能都市としてのポテンシャルを十二分に発揮しているといえる。

指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア
1	港区	435.8
2	千代田区	417.8
3	中央区	364.0
4	渋谷区	321.5
5	新宿区	286.9
6	品川区	276.6
7	文京区	275.7
8	目黒区	274.8
9	豊島区	249.9
10	江東区	248.1
11	世田谷区	235.5
12	中野区	234.2
13	台東区	233.1
14	墨田区	230.4
15	杉並区	226.9
16 23	大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



研究・開発

順位	都市名	スコア
1	港区	83.9
2	千代田区	71.7
3	文京区	68.3
4	新宿区	54.7
5	中央区	29.1
6	目黒区	20.7
7	渋谷区	16.9
8	江東区	15.8
9	大田区	14.9
10	世田谷区	14.3
11	品川区	13.8
12	豊島区	13.4
13	板橋区	7.0
14	台東区	6.3
15	練馬区	4.5
16 23	墨田区, 中野区, 杉並区, 北区, 荒川区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



文化・交流

順位	都市名	スコア
1	千代田区	218.2
2	港区	218.1
3	江東区	156.0
4	渋谷区	153.5
5	新宿区	146.8
6	台東区	136.2
7	中央区	133.0
8	文京区	118.4
9	墨田区	98.1
10	豊島区	96.7
11	品川区	88.2
12	世田谷区	76.4
13	大田区	75.3
14	目黒区	70.6
15	葛飾区	58.6
16 23	中野区, 杉並区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



生活・居住

順位	都市名	スコア
1	中央区	393.4
2	港区	367.7
3	千代田区	361.3
4	文京区	347.2
5	渋谷区	336.8
6	台東区	317.9
7	新宿区	304.6
8	目黒区	297.8
9	品川区	286.3
10	豊島区	283.2
11	世田谷区	283.2
12	杉並区	281.0
13	練馬区	278.7
14	板橋区	270.3
15	中野区	265.9
16 23	墨田区, 江東区, 大田区, 北区, 荒川区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



環境

順位	都市名	スコア
1	江東区	276.2
2	中央区	266.3
3	江戸川区	259.1
4	練馬区	254.5
5	杉並区	250.4
6	文京区	250.1
7	墨田区	246.2
8	世田谷区	244.3
9	葛飾区	242.5
10	目黒区	237.7
11	品川区	236.5
12	大田区	236.2
13	北区	234.6
14	港区	229.8
15	中野区	227.4
16 23	千代田区, 新宿区, 台東区, 渋谷区, 豊島区, 荒川区, 板橋区, 足立区 (市区町村コード順)	



交通・アクセス

順位	都市名	スコア
1	中央区	185.7
2	千代田区	183.7
3	港区	168.5
4	渋谷区	162.7
5	新宿区	156.7
6	台東区	155.1
7	文京区	153.8
8	品川区	150.7
9	江東区	148.7
10	大田区	146.6
11	豊島区	143.2
12	墨田区	140.8
13	荒川区	140.6
14	江戸川区	139.6
15	中野区	138.5
16 23	目黒区, 世田谷区, 杉並区, 北区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区 (市区町村コード順)	

合計スコア

順位	都市名	スコア
1	港区	1,503.8
2	千代田区	1,470.3
3	中央区	1,371.6
4	文京区	1,213.5
5	渋谷区	1,175.4
6	新宿区	1,128.0
7	江東区	1,093.8
8	台東区	1,061.6
9	品川区	1,052.2
10	目黒区	1,030.8
11	墨田区	982.8
12	世田谷区	982.7
13	豊島区	975.9
14	大田区	946.7
15	杉並区	942.3
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコアの算出のために、まずは各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、87指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数25/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	65.0
2	千代田区	60.9
3	港区	57.0
4	文京区	54.6
5	渋谷区	51.7
6	品川区	49.5
7	台東区	49.5
8	目黒区	48.6
9	杉並区	47.2
10	練馬区	47.0
11	世田谷区	47.0
12	中野区	46.2
13	江東区	46.1
14	新宿区	46.0
15	豊島区	46.0
16 23	墨田区、大田区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



ファミリー 指標数42/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	58.3
2	港区	53.5
3	千代田区	51.7
4	文京区	51.1
5	渋谷区	47.2
6	台東区	46.6
7	目黒区	45.6
8	品川区	45.1
9	練馬区	44.7
10	江東区	44.5
11	世田谷区	44.4
12	墨田区	44.2
13	杉並区	44.0
14	新宿区	43.4
15	江戸川区	42.5
16 23	大田区、中野区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区 (市区町村コード順)	



シニア 指標数36/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	58.3
2	千代田区	55.0
3	文京区	53.4
4	港区	53.2
5	渋谷区	48.2
6	台東区	46.7
7	品川区	46.2
8	目黒区	46.1
9	墨田区	45.3
10	江東区	45.2
11	練馬区	45.2
12	杉並区	45.2
13	世田谷区	44.8
14	新宿区	43.8
15	中野区	43.0
16 23	大田区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



観光客 指標数35/87

順位	都市名	スコア
1	千代田区	50.7
2	港区	49.1
3	中央区	48.5
4	江東区	41.7
5	渋谷区	39.9
6	文京区	38.8
7	台東区	38.7
8	新宿区	36.8
9	墨田区	34.7
10	品川区	34.0
11	世田谷区	32.3
12	大田区	31.7
13	目黒区	31.3
14	豊島区	30.9
15	江戸川区	30.4
16 23	中野区、杉並区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区 (市区町村コード順)	



経営者 指標数36/87

順位	都市名	スコア
1	港区	67.0
2	千代田区	65.0
3	中央区	55.7
4	渋谷区	48.4
5	新宿区	45.6
6	文京区	43.5
7	品川区	42.1
8	江東区	41.5
9	目黒区	39.5
10	豊島区	38.2
11	台東区	37.2
12	中野区	35.6
13	大田区	35.5
14	世田谷区	35.0
15	杉並区	34.4
16 23	墨田区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



従業者 指標数19/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	67.8
2	千代田区	64.8
3	港区	59.8
4	渋谷区	55.7
5	新宿区	52.3
6	台東区	51.1
7	文京区	50.5
8	品川区	49.1
9	豊島区	48.2
10	目黒区	47.3
11	墨田区	46.9
12	江東区	43.0
13	中野区	42.4
14	大田区	42.0
15	荒川区	41.1
16 23	世田谷区、杉並区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	

クラスター分析

Cluster Analysis

1 背景と目的

「日本の都市特性評価(JPC)」では、主たる評価手法として分野別評価を用いている。しかし都市の特性を明らかにするためには、俯瞰的かつ多角的な観点での分析が必要である。そこで、当特集研究では都市クラスターの抽出とそれらの特性を明らかにすることを目的とし、全87指標の個別スコアを用いたクラスター分析を行い、都市を数量的に類型化すること

を試みた。また、都市の類型化にあたっては、各クラスター内においてスコアの傾向が似ている指標を抽出することで、各クラスターの特性に関する考察を行った。

2 分析対象と手法

分析対象はJPC-2024対象都市と同様、全国の主要136都市および東京23区とした。JPC-2024の全87指標の個別スコアをもとに、それぞれにクラスター分析を行い、特性の類似する都市をグルーピングした。

また、指標別のクラスター平均得点を算出し、それを踏まえ各都市クラスターの特性に対する考察を加え、クラスターごとに適切な名称を付与した。

そして、都市は連続的に広がる地理空間に位置するため、空間的パターンもその特性の1つであり、都市クラスターを地図上に落として分布を可視化した。

クラスター分析とは

英語で「クラスター」とは「群れ」「集団」という意味で、似通った個体が集合している様子を指している。「クラスター分析」とは、多変量解析の一手法で、異なる個体が混ざりあっている集団の中から、類似した個体同士をグルーピングする手法であり、地域分析や都市研究の諸分野において広く用いられている。本研究は階層的なクラスター分析を用い、都市間の距離計算はユークリッド距離で、クラスターの結合法はWard法を用いた。

3 結果と考察

主要136都市と東京23区をそれぞれに分析し、結果を円形の樹形図と地図上にプロットした。これらの図では、色がクラスターを表している。主要136都市は16個のクラスターに、東京23区は4個のクラスターに集約された。また、各クラスターの立地と特性に対する考察を行い、それを踏まえクラスター名を付与した。



■ クラスター分類とクラスター名

④ クラスター

水辺が充実し、
再生可能エネルギー
自給率の高い環境都市

① クラスター

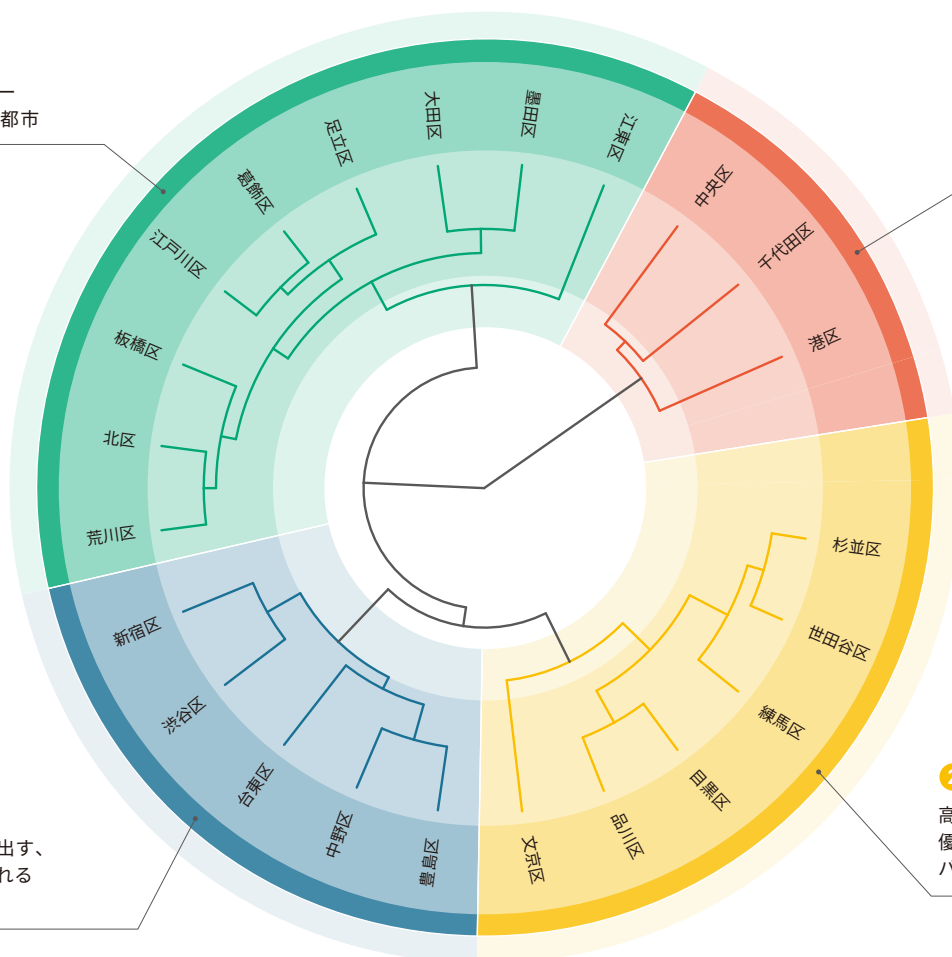
高い総合力と高度な
バランスを兼ね備えた
首都の中心区

③ クラスター

文化的魅力が生み出す、
活力と多様性が溢れる
国際交流都市

② クラスター

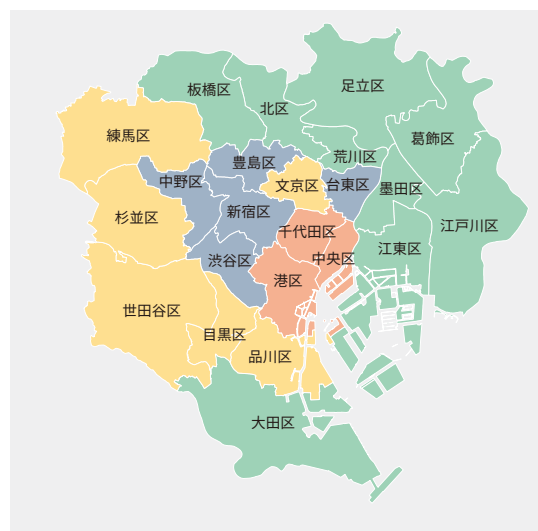
高度な人材力と、
優れた住環境を備え持つ
バランス型居住都市



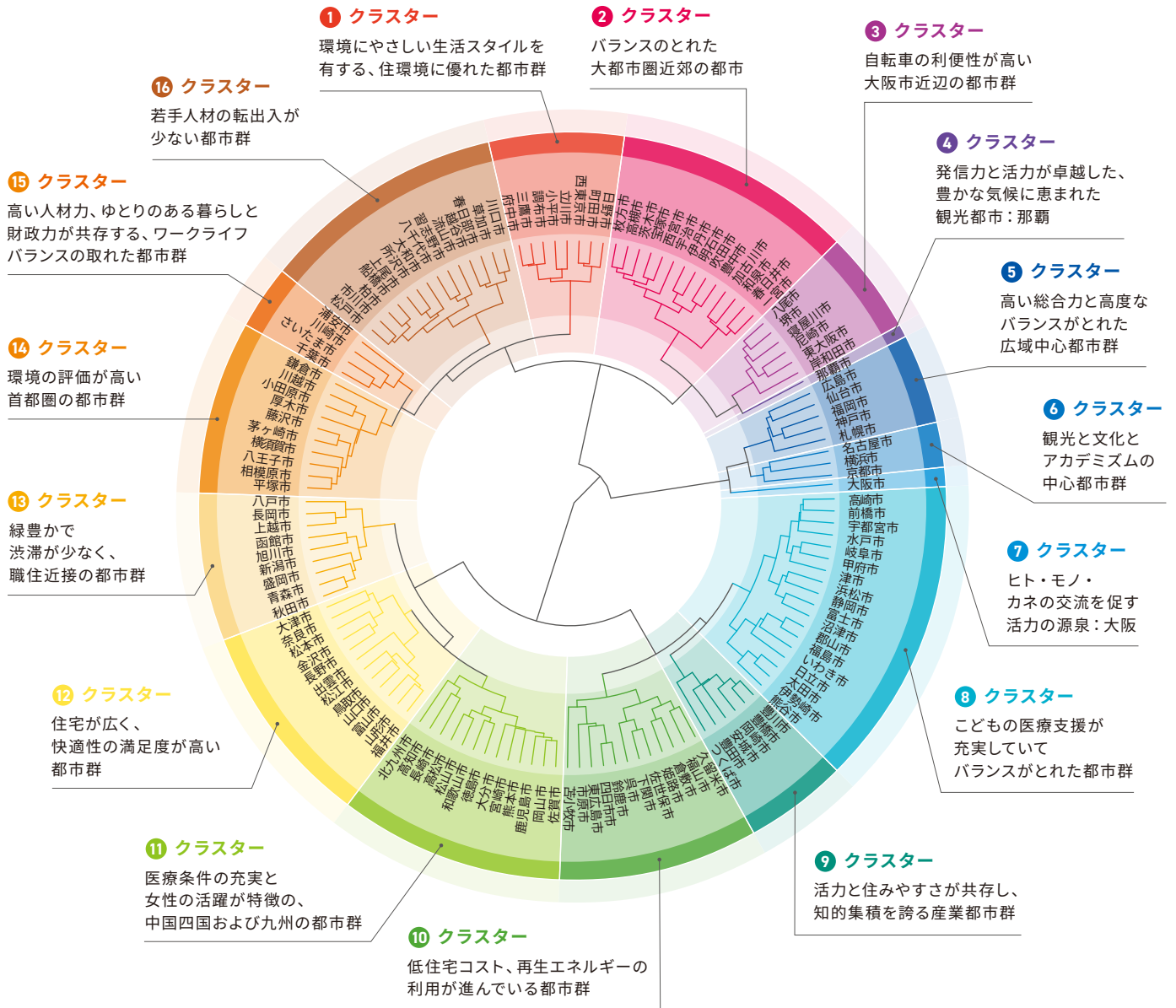
■ クラスター分類

クラスター	都市数	都市名
①	3	中央区, 千代田区, 港区
②	6	杉並区, 世田谷区, 練馬区, 目黒区, 品川区, 文京区
③	5	豊島区, 中野区, 台東区, 渋谷区, 新宿区
④	9	荒川区, 北区, 板橋区, 江戸川区, 葛飾区, 足立区, 大田区, 墨田区, 江東区

■ 地図上におけるクラスター分類



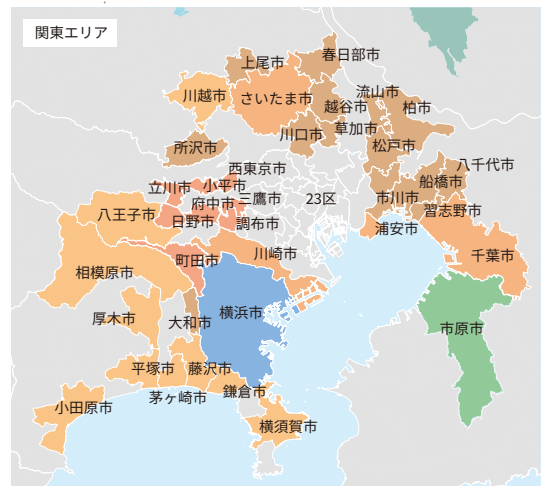
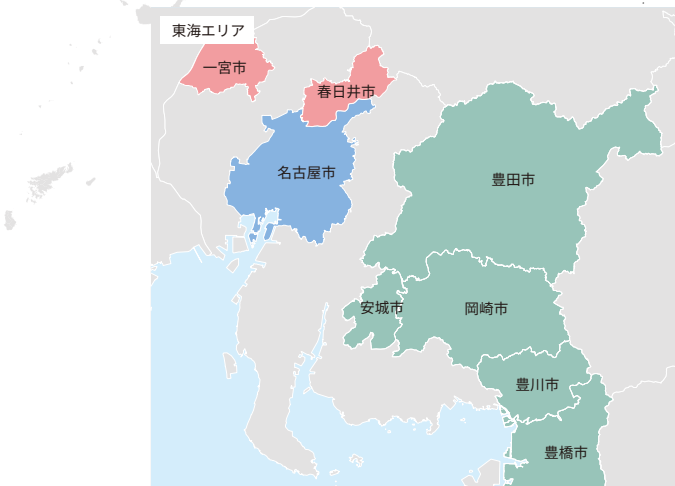
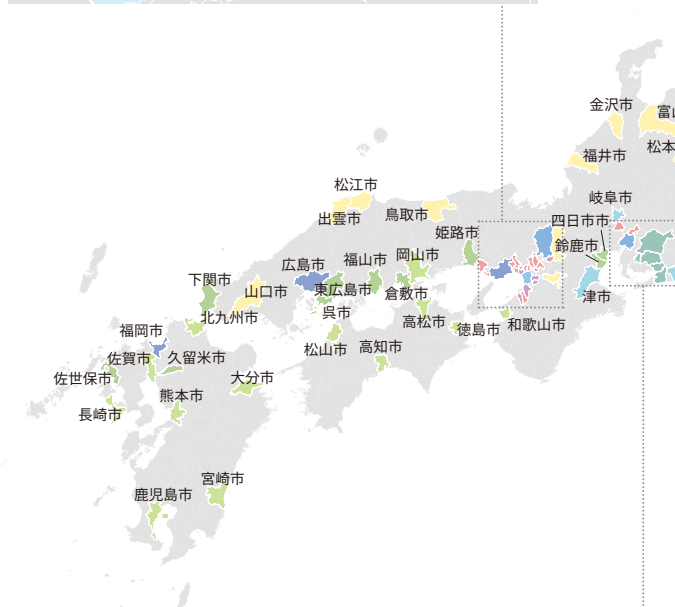
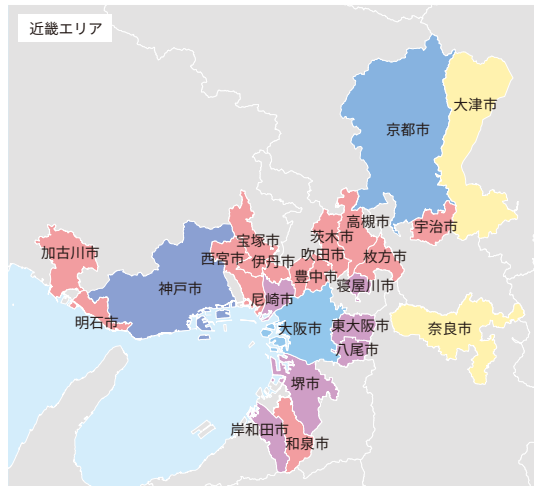
■ クラスター分類とクラスター名



■ クラスター分類

クラスター	都市数	都市名	クラスター	都市数	都市名
1	8	府中市, 三鷹市, 調布市, 小平市, 立川市, 西東京市, 町田市, 日野市	6	6	豊川市, 豊橋市, 岡崎市, 安城市, 豊田市, つくば市
2	14	枚方市, 高槻市, 茨木市, 宝塚市, 西宮市, 宇治市, 伊丹市, 明石市, 吹田市, 豊中市, 加古川市, 和泉市, 春日井市, 一宮市	12	12	久留米市, 福山市, 倉敷市, 姫路市, 佐世保市, 下関市, 呉市, 鈴鹿市, 四日市市, 東広島市, 市原市, 苫小牧市
3	6	八尾市, 堺市, 寝屋川市, 尼崎市, 東大阪市, 岸和田市	13	13	佐賀市, 岡山市, 鹿児島市, 熊本市, 宮崎市, 大分市, 徳島市, 和歌山市, 松山市, 高松市, 長崎市, 高知市, 北九州市
4	1	那覇市	12	12	福井市, 山形市, 富山市, 山口市, 鳥取市, 松江市, 出雲市, 長野市, 金沢市, 松本市, 奈良市, 大津市
5	5	広島市, 仙台市, 福岡市, 神戸市, 札幌市	9	9	秋田市, 青森市, 盛岡市, 新潟市, 旭川市, 函館市, 上越市, 長岡市, 八戸市
6	3	名古屋市, 横浜市, 京都市	10	10	平塚市, 相模原市, 八王子市, 横須賀市, 茅ヶ崎市, 藤沢市, 厚木市, 小田原市, 川崎市, 鎌倉市
7	1	大阪市	4	4	千葉市, さいたま市, 川崎市, 浦安市
8	18	高崎市, 前橋市, 宇都宮市, 水戸市, 岐阜市, 甲府市, 津市, 浜松市, 静岡市, 富士市, 沼津市, 郡山市, 福島市, いわき市, 日立市, 太田市, 伊勢崎市, 熊谷市	14	14	松戸市, 市川市, 柏市, 船橋市, 上尾市, 所沢市, 大和市, 八千代市, 習志野市, 流山市, 越谷市, 春日部市, 草加市, 川口市

■地図上におけるクラスター分類



指標の定義

Definitions of Indicators

指標は、統計資料などにもとづく定量データ（計79指標）および森記念財団が実施した居住者アンケート（計9指標）を用いて設定した。データの取得方法の概要は以下の（1）および（2）の通りである。

（1）統計資料などにもとづく定量データ（計79指標）

- ・可能な限り、公的な統計資料からデータを取得する
- ・公的な統計によらないデータについては、出典が明確なものを採用する
- ・データの取得期間は、2024年1月～3月

（2）居住者アンケート（計9指標）

- ・調査方法：インターネット調査
- ・回答者：18歳以上の対象159都市の居住者
- ・有効回収数：計47,700人（各都市300人）。男女比は1:1、年代は18歳～59歳と60歳以上の比率を概ね6:4とした。
- ・調査時期：2024年3月
- ・調査実施会社：株式会社サーベイリサーチセンター

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
経済・ビジネス	経済活動	1	付加価値額	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「付加価値額（企業単位）」（出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工）。
		2	地域内総支出	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「総支出（地域内ベース）」（出典：環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」）。
		3	昼夜間人口比率	総務省統計局「国勢調査結果」における昼夜間人口比率（従業地・通学地による人口を常住地による人口で除した割合）。
	雇用・人材	4	従業者数	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「産業（小分類）別従業者数-全国、都道府県、市区町村」に掲載の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））。
		5	賃金水準	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除した値。
		6	高等教育修了者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「産業等基本集計（労働力状態、就業者の産業など）」に掲載の高等教育修了者（卒業者 短大・高専／卒業者 大学／卒業者 大学院）を同調査の18歳以上人口で除した値。なお、専門学校卒業者はその修業年限によって、上記どちらかに区分される。
		7	若手人材の転入出	総務省統計局「国勢調査結果」における平成22年時点の高等教育機関へ入学する前の世代（15～19歳）の人口と、「国勢調査結果」における令和2年時点の高等教育を修了した世代（25～29歳）の人口の増減の比。
	人材の多様性	8	女性就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」に掲載の15～64歳の女性就業者数を、同調査に掲載の15～64歳総就業者数で除した値。
		9	外国人就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」における「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」に掲載の15歳以上の外国人就業者数を、同調査の15歳以上の就業者数で除した値。掲載がない都市は各都道府県労働局に掲載の数をを用いた。該当局にも掲載がない都市は外国人人口を用いて推計した。
		10	高齢者就業率	総務省統計局「国勢調査結果」における「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」に掲載の65歳以上就業者数を、同調査の65歳以上人口で除した値。
	ビジネスの活力	11	新規設立法人登記割合	国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の各都市の総法人数のうち、過去5年間に新たに法人番号が指定された法人数の割合。
		12	労働生産性	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「付加価値額（企業単位）」（出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工）を、総務省統計局の「経済センサス-活動調査結果」における「産業（小分類）別従業者数-全国、都道府県、市区町村」に掲載の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除した値。
		13	完全失業率	総務省統計局「国勢調査結果」における完全失業者数を労働力人口で除した値。
		14	新規不動産業用建築物供給面積	国土交通省「建築着工統計調査報告」2017年から2019年の3か年と過去10カ月における「建築物：市区町村別、用途別（大分類）」のうちの「L 不動産業用建築物」の床面積の平均値。
	ビジネス環境	15	特区制度認定数	内閣府地方創生推進事務局において「国家戦略特区」に認定された事業数および「総合特区」、「構造改革特区」の特区分数をそれぞれ指数化し、合算した値。（なお、都道府県レベルで認定されたものは、0.5の重みづけを行った）。
		16	対事業所サービス従業者割合	森記念財団都市戦略研究所が独自に定義した「対事業所サービス業」をもとに、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類25を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載の当該25小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除して算出した割合。
		17 Q	フレキシブルワークスタイル実施率	居住者アンケート「あなたの会社が整備しているフレキシブルな働き方の項目にチェックを入れてください。（複数回答可）」の問いにおける選択肢「テレワーク（在宅勤務など）、オンライン会議、フレックスタイム制、副業・兼業、サテライトオフィス・シェアオフィスやコワーキングスペースの利用、週休3日制度、ワーケーション・長期休暇・育児休暇や介護休暇の利用、多拠点生活」の回答をもとに算出した値。
	財政	18	財政力指数	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「財政力指数」。東京23区は東京都総務局行政部「特別区普通会計決算」に掲載の「財政力指数」。
		19	経常収支比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「経常収支比率」。
		20	実質公債費比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「実質公債費比率」。
		21	将来負担比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「将来負担比率」。東京都23区は、東京都総務局行政部「決算に基づく健全化判断比率」における「将来負担比率」。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
研究・開発	研究集積	22	学術・開発研究機関 従業者割合	総務省統計局「経済センサス - 活動調査」における「事業所に関する集計」に掲載の「学術・開発研究機関」の従業者数を、従業者数(A〜R 全産業(S公務を除く))で除して算出した割合。
		23	トップ大学数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 株式会社ベネッセコーポレーション「THE世界大学ランキング 日本版」における上位150の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。(2) Times Higher Educationの "World University Rankings"に掲載の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。
	研究開発成果	24	論文投稿数	文部科学省 科学技術・学術政策研究所の「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング」に掲載の、2008 - 2017年の総論文数が500件以上の日本の188大学、および同研究所の「サイエンスマップ報告書」に掲載の個別国立研究開発法人等を対象に、国立情報学研究所の「CiNii Articles」における2020 - 2022年の1年あたりの平均論文投稿数を合計した数値。複数拠点がある場合は、その平均値を拠点数で按分し推計した。
		25	グローバルニッチ トップ企業数	経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選(GNT企業100選) 選定企業一覧」に掲載の企業の本社、営業所、事業所などを合算した値。
		26	特許取得数	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「特許分布図」(出典:特許庁「特許情報」)に掲載の特許情報のうち、過去5年間に取得された件数。
文化・交流	ハード資源	27	観光地の数・評価	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) Google places APIから、tourist_attractionタグの施設を取得し、取得した施設の観光地数と口コミ数をそれぞれ指数化し合算した値。(2)「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「名所・見どころ」、「公園・自然」、「アウトドア アクティビティ」、「美術館・博物館・ミュージアム」、「動物園・水族館」、「アクティビティ・ゲームセンター」、「劇場・コンサート」、「テーマパーク」の8カテゴリーの観光地数と口コミ数(ただし、観光ソフト資源と思われる項目を除く)をそれぞれ指数化し合算した値。
		28	文化財指定件数	文化庁「国指定文化財等データベース」および「世界遺産(文化遺産)一覧」に掲載の建造物、風景、特定のエリアに指定された文化財において、以下の通り文化財の種類に応じて重みづけをした値の合算値：世界遺産(3点)、国宝・特別史跡・特別名勝・重要伝統的建造物群保存地区(2点)、重要文化財・登録有形文化財(建造物)・登録記念物・史跡・名勝・重要文化的景観(1点)。
		29	景観まちづくりへの 積極度	次の2つの数値の合計値：(1) 国土交通省「景観法の施行状況」に掲載の、対象都市の「景観計画策定」の有無および「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定有無(有りにつき1点)。(2)「都市景観の日」実行委員会による、平成23年度以降の「都市景観大賞『都市空間部門』『景観まちづくり活動・教育部門』および『景観づくり活動部門』『景観教育・普及啓発部門』」の各賞を受賞した地区または活動数、平成13年度〜平成22年度の「都市景観大賞『美しいまちなみ賞』」の各賞を受賞した地区数、平成3年度〜平成12年度の「都市景観100選」を受賞した都市数(1つにつき1点)。県が受賞したものは対象外とする。
	ソフト資源	30	イベントの数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「イベント」の数を指数化した値。(2)公益財団法人日本観光振興協会「ジャパン・ヨナナ・ゴー」の「イベント・祭り」に登録されている数を指数化した値。
		31	クリエイティブ産業 従業者割合	国際連合開発計画(UNDP)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、および東京都産業労働局の報告書をもとに、独自に「クリエイティブ産業」を定義し、総務省統計局「経済センサス - 活動調査結果」より相当する産業小分類37を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載の当該37小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A〜R全産業(S公務を除く))で除した割合。
		32 Q	文化・歴史・伝統への 接触機会	居住者アンケート「現在お住まいの都市は他の都市から訪れた人にとって、魅力的な文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会が多いと思いますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
	受入環境	33	宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設の総客室数。
		34	高級宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設のうち「ハイクラス」に区分される宿泊施設の客室総数。
		35	イベントホール座席数	次の2つの数値にもとづいてスコアを計算した：(1) 公益社団法人全国公立文化施設協会の「全国劇場・音楽堂等総合調査サイト」に掲載の公立文化施設の座席数を指数化した値。(2) 株式会社アイデアログの「会場ベストサーチ」に掲載のホテルの宴会場の収容人数を指数化した値。掲載のない都市については、株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設のうち、宴会場を有するホテルの客室数から推計した。
		36	観光案内所・病院の 多言語対応	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」に掲載の観光案内所数を、その観光案内所の多言語対応や観光案内の提供範囲等で区分されたカテゴリーで重みづけをした値を指数化した値。(2) 日本政府観光局(JNTO)「外国人旅行者の受入が可能な医療機関」に掲載の医療機関数を指数化した値。
	交流実績	37	休日の人の多さ	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「休日滞在人口(2022年14時時点、15歳以上80歳未満人口の12か月平均値)」(出典:株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」)を夜間人口で除した値。
		38	行楽・観光目的の 訪問の多さ	株式会社ナイトレイ「CITY INSIGHT」のSNS解析プラン(日本人)に掲載の過去1年間のSNS(Xベース)にて投稿された飲食、レジャー、観光、宿泊の4カテゴリー位置情報の投稿数(県外居住者限定)。
		39	国際会議・展示会 開催件数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」に掲載の「国際会議開催件数」を指数化した値(東京23区の「国際会議開催件数」は一部の国際会議のみ開催場所の記載があるため、それをもとに区別に開催件数を推計した)。(2) 株式会社ピーオービー「展示会データベース」に掲載の「展示会開催件数」を指数化した値。
	発信実績	40	観光客誘致活動	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 国土交通省観光庁「観光地域づくり法人(DMO) 法人一覧」に掲載のDMOについて、市区町村単位の地域DMOを1法人につき1点、広域連携DMOと地域連携DMOを1法人につき0.5点として、法人数に重みづけをして指数化した値(東京については、独自調査により法人を追加)。(2) ツーリズムEXPOジャパンのウェブサイトに掲載の過去5年の出展団体(民間を除く)について、市町村単位の団体を1法人につき1点(単体ではない出展も含む)、広域・都道府県レベルの団体を1法人につき0.5点として、団体数に重みづけをして指数化した値。
		41	自治体SNS フォロワー数	Facebook、X、Youtube、Instagramにおける、自治体もしくは観光協会発信の公式アカウントやチャンネル(災害情報や選挙関連情報のみ発信しているものは対象外)の数が大きい方のフォロワー数をソーシャルメディア(SNS)ごとに指数化し、合算した値。
		42 Q	魅力度・認知度・ 観光意欲度	居住者アンケートにて、無作為に抽出された居住都市以外の3都市に対する「認知度」「魅力度」「観光意欲度」についての回答をもとに算出した値。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
生活・居住	安全・安心	43	刑法犯認知件数の少なさ	警視庁または、各都道府県の警察署が公表する刑法認知件数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		44	交通事故死亡者数の少なさ	公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダ インフォメーション」に掲載の過去3か年の「全国市区町村別 交通事故死者数」の平均値を昼間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		45	災害時の安全性	次の5つの数値に基づいてスコアを算出した：(1)総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」に掲載の、「1980年以前建築の住宅戸数」を総戸数で除した値。(2)同調査の「総戸数に占める避難場所が1km以上離れている戸数」を総戸数で除した値。(3)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「浸水想定区域面積」を総面積で除した値。(4)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「土砂災害危険箇所データ」および「土砂災害警戒区域データ」における対象面積の合計値を総面積で除した値。(5)総務省消防庁「火災年報」に掲載の「出火件数 建物」を昼間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		46	空家率の低さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査」における「居住世帯の有無(8区分)別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数—市区町村」に掲載の「居住世帯なし」の「空き家」のうち「その他住宅」に区分されている住宅数を、同調査の住宅総数で除して算出した値。
	健康・医療	47	医師の多さ	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」における「医療施設従事医師数、主たる診療科・従業地による二次医療圏・市区町村別」に掲載の「医療施設従事医師数」の総数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		48	病院・診療所・病床の多さ	次の3つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「医療施設(動態)調査」における施設数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。(2)同調査における一般診療所数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。(3)同調査における病床数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。
		49	平均寿命・健康寿命	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「市区町村別生命表の概況 統計表1」の市区町村別平均寿命、(2)浜松医科大学「都道府県別健康寿命」。(2)は都道府県データのため、(1)の半分の重みづけをした。
	育児・教育	50	合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」に掲載の合計特殊出生率(バイズ推定値)。
		51	育児・教育関連給付金の多さ	株式会社 Zaim「わたしの給付金」に掲載の市区町村実施の18歳以下が対象の育児・教育関連の給付金施策の数。
		52	子どもの医療費支援	こども家庭庁「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の「別紙3 市区町村における乳幼児等医療費援助の実施状況」に掲載の医療費援助(通院)および(入院)の対象年齢に応じた点数(就学前1点、7～9歳年度末2点、12歳年度末3点、15歳年度末4点、18歳年度末5点、24歳年度末6点)、および所得制限と一部自己負担の有無(無しにつき1点、通院・入院どちらか無しの場合は0.5点)の合計点。
		53	教育機会の多様性	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)学びリンク編集部「全国フリースクールガイド小中高・不登校生の居場所探し」に掲載のフリースクール数を指数化した値。(2)代表的な高校偏差値情報サイトに掲載の偏差値65以上の高校数を指数化した値。
	市民生活・福祉	54	外国人住民の受入体制	一般財団法人自治体国際化協会の「多文化共生ツールライブラリー」に掲載の多文化共生のための取り組み数。市レベルの取り組みは1点、県レベルの取り組みは0.5点としてスコア化した。
		55	要支援・要介護高齢者の少なさ	厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」における65歳以上の「要介護(要支援)認定者数」を、同報告に記載されている第1号被保険者数(65歳以上人口)で除した値。佐賀市・熊谷市は自治体発表のデータを用い、豊橋市、豊川市、鈴鹿市は推計を行った。
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	日常生活自立支援事業の実利用者数を夜間人口(万人あたり)で除した値。
		57	電子自治体推進度	総務省「自治体DX・情報化推進概要(地方公共団体における行政情報化の推進状況調査結果)」の「行政サービスの向上・高度化」のうち、住民のオンライン利用の促進や住民サービス向上に向けた取り組みに関する項目を集計し過去3か年の平均を算出した値。
	居住環境	58 Q	居住環境の満足度	居住者アンケート「自宅周辺の居住環境(防犯性、防犯性、利便性など総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		59	新規住宅供給の多さ	国土交通省「住宅着工統計報告」における「第15表 着工住宅：都道府県別、工事別、利用関係別(戸数・件数、床面積の合計)」に掲載の「新設」の「床面積の合計(nf)」の過去3か年平均を、夜間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		60	住宅の広さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における1住宅あたり延べ面積。
	生活利便施設	61	小売事業所密度	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「各種商品小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」、「機械器具小売業」および「その他の小売業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		62	飲食店舗密度	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
		63	コンビニ密度	代表的なインターネット電話帳に掲載のコンビニ数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
	生活の余裕度	64	可処分所得	総務省統計局「全国家計構造調査」に掲載の、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月間の「可処分所得額」。東京23区については総務省統計局「社会・人口統計体系 市区町村データ 基礎データ」の「課税対象所得」および「世帯数」を用いて推計を行った。
		65	物価水準の低さ	総務省統計局「小売物価統計調査(構造編)」における「10大費目別消費者物価地域差指数(全国平均=100)」の、「総合」より算出した値。なお、県庁所在市および政令指定都市以外の都市はデータが掲載されていないため、都道府県の値を代用した。
		66	住宅コストの低さ	総務省統計局「全国家計構造調査」の都道府県別家計収支に関する結果に掲載の「住居費」と「持ち家(現住居)の帰属家賃」の合計値。東京23区については、以下の2つのデータをもとに推計した：(1)同調査の横浜市の値および東京都特別区部の平均値、(2)代表的な賃貸不動産サイトにおける、各区および横浜市の住宅賃料相場(2LDK程度)。

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
環境	温暖化対策	67	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」で公表されている各市区町村のCO ₂ 排出量合計値を、総務省統計局「国勢調査結果」に基づく各市町村の昼間人口で除した人口1人あたりのCO ₂ 排出量。
		68	再生可能エネルギー自給率	千葉大学倉阪研究室＋認定NPO法人環境エネルギー政策研究所提供の「永続地帯報告書」の地域的エネルギー自給率(電力＋熱)の値。地域的エネルギー自給率とは、地域的エネルギー需要(民生用＋農林水産業用エネルギー需要)に占める再生可能エネルギー供給量の比率。再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、太陽熱、地熱、バイオマス熱を含む。
	廃棄物	69	一人一日あたりゴミの排出量	環境省環境再生・資源循環局の「一般廃棄物処理実態調査」に掲載の「ごみ処理の概要」の「1人1日当たりの排出量」の合計の値。東京23区は公表されていないため、東京二十三区清掃一部事務組合「清掃事業年報」に掲載の「区による生活系ごみ収集量」の比率によって、環境省環境再生・資源循環局「一般廃棄物処理実態調査」に掲載の23区合計のごみ発生量を按分し、各区の人口で除した値。
		70	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」の「市町村集計結果(ごみ処理状況)」に掲載のリサイクル率(リサイクル率R')。東京23区については「東京都23区分」の値。
	自然環境	71 Q	自然環境の満足度	居住者アンケート「自然環境(山や森、海や川、緑豊かな公園や街路樹など)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		72	都市地域緑地率	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「都市地域土地利用細分メッシュ」を用いて、田、その他の農用地、森林、荒地、公園・緑地、ゴルフ場の面積を抽出し、都市地域総面積で除して算出した値。「都市地域」とは、国土を都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域の5地域に分類したときの「都市地域」を指し、都市計画法第5条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域を指す。
		73	水辺の充実度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 株式会社東京地図研究社のオリジナル地図データ「MapPackage」を用いて、行政区域総面積における水辺面積を推計し、これを行政区域総面積で除して算出した値。水辺面積の推計は以下のルールにもとづいて行った。①面データがある水域(主に海)においては、陸域から100m圏内の水面の面積を算出した。②線データしかない水域(主に川)においては、陸域から100m圏内の水域の線データの長さを算出し、水域の幅を10mと設定し、算出した長さに乗じた。(利用した「MapPackage」での水域の取得基準により、水域の数値が0となっている場合がある)(2) 国土交通省「かわまちづくりウェブサイト」に掲載の「かわまちづくり計画」を策定している市区町村(有りに1点)、および「かわまちづくり大賞」を受賞している市区町村(受賞1回につき1点)の合計値。
	気候	74	年間日照時間	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の合計日照時間。
		75	気温・湿度が快適な日数	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の不快指数が60以上75以下の日数をカウント。不快指数は、日平均気温および日平均湿度を用いて、以下の計算方法で算出した。不快指数(DI)=0.81T+0.01H×(0.99T-14.3)+46.3(Tは気温℃、Hは湿度%)
		76	気温の暖かさ	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の30年間の月平均気温が5℃を下回る月の「5℃-月平均気温」の合計値。
交通・アクセス	快適性	77	空気のきれいさ	国立環境研究所「大気環境月間値・年間値データ」における「窒素酸化物(NO _x)」の濃度と「微小粒子状物質(PM _{2.5})」の濃度において、全測定局の年間平均値をそれぞれ指数化し、合算した値。
		78 Q	街路の清潔さ	居住者アンケート「他の都市と比べて、現在お住まいの都市の屋外空間、街路等は清潔に(街路上にゴミが落ちていない等)保たれていますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		79 Q	快適性の満足度	居住者アンケート「現在お住まいの都市の環境の快適性(大気の状態、騒音の程度、悪臭の程度など総合的に)に対して、どの程度満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
	都市内交通	80 Q	公共交通の利便性	居住者アンケート「公共交通(鉄道やバスなどの運行本数、施設・設備、サービスなど総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		81	鉄道駅・バス停密度	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「鉄道駅データ」と「バス停留所データ」に掲載の鉄道駅数とバス停留所数を、都市計画区域面積からそれぞれ密度を算出し、指数化した値を合算した。
		82	交通渋滞の少なさ	国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」に掲載の旅行速度整理表(都道府県別道路種別別)より、自動車専用道路以外の昼間12時間平均旅行速度(時間帯別交通量加重)の上り・下りを平均した値。
	都市外アクセス	83	空港アクセス時間の短さ	対象都市における市区役所から2時間以内で到達可能な空港(対象空港)までの平均所要時間。平均所要時間は次の2つの数値にもとづいて算出した：(1) Googleマップで算出される各市区役所から最寄りの空港までの最短アクセス時間(平日朝10時到着、自動車による移動)。(2) 国土交通省東京航空局および大阪航空局の「管内空港の利用概況集計表」より集計した空港別の年間旅客者数(国内線・国際線合計)。
		84	新幹線の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」から取得した新幹線の停車駅の乗降客数(新幹線・在来線の合算値)。新幹線の停車駅がない都市は、対象都市内で乗降客数が最大の駅から最も近い新幹線の停車駅の乗降客数。乗降客数が記載されていない駅は、個別にデータを収集した。(2) 新幹線の停車駅までの移動時間。新幹線の停車駅がある都市は、移動時間を0とした。新幹線の停車駅がない都市は、都市内の最も乗降客数が多い駅から最も近い新幹線の停車駅までの移動時間とする(平日朝10時到着、鉄道による移動)。なお、新幹線の停車駅に朝10時までに到達が不可能な場合はスコアを0とした。
		85	インターチェンジ数	国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「高速道路時系列データ」における「一般インターチェンジ」および「スマートインターチェンジ」の数。
	移動の容易性	86	通勤時間の短さ	総務省「住宅・土地統計調査」における家計を主に支える者の通勤時間の中央値。
		87 Q	自転車の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) RYDE株式会社「RYDE CYCLE」、およびナビタイムジャパン「全国のシェアサイクル」の登録数が多い方のシェアサイクルポート数。(2) 居住者アンケート「新型コロナウイルス感染症流行後の、主たる通勤や通学に用いている移動手段を選択してください。」の問いに対する選択肢(徒歩、自転車、キックボード、バイク、車、バス・路面電車、電車・地下鉄)のうち自転車の占める割合。

Q: 居住者アンケート結果を用いている指標



日本の都市特性評価

Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness

2024年7月

編集・発行

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

装丁・印刷：光村印刷株式会社

調査に関するお問い合わせ

iusall@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

TEL : 03-6406-6800

www.mori-m-foundation.or.jp

© 2024 The Mori Memorial Foundation

このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

J a p a n
P o w e r
C i t i e s

Profiling Urban Attractiveness